様式（評価機構フォーマット版）

令和７年度
自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和８年５月７日

学校法人国際志学園　九州医療スポーツ専門学校

令和６年度自己評価 評定

基準	小項目	記載責任者	基準単位平均評定	評定											
基準１　教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像	学校長	4.0	4.0											
基準２　学校運営	2-2 運営方針	学校長	4.0	4.0											
	2-3 事業計画	学校長		4.0											
	2-4 運営組織	事務局長		4.0											
	2-5 人事・給与制度	事務局長		4.0											
	2-6 意思決定システム	事務局長		4.0											
	2-7 情報システム	IT事業部長		4.0											

評定の基準）

評定４＝適切（実施率＝100%）
評定３＝ほぼ適切（実施率＝50%以上100%未満）
評定２＝やや不適切（実施率＝25%以上50%未満）
評定１＝不適切（実施率＝25%未満）

基準	小項目	記載責任者	基準単位平均評定	平均評定	柔道整復	鍼灸	理学療法	作業療法	看護	歯科衛生	介護福祉	AT	整体	日本語	DO
基準３　教育活動	3-8 目標の設定	学科長	3.8	4.0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	3-9 教育方法・評価等	学科長		3.7	4	4	3	3	4	4	4	4	4	3	4
	3-10 成績評価・単位認定等	学科長		3.8	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
	3-11 資格・免許の取得の指導体制	学科長		3.7	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3	3
	3-12 教員・教員組織	学科長		3.5	3	4	4	3	4	4	2	4	4	4	3
基準４　学修成果	4-13 就職率	学科長	3.6	3.9	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4
	4-14 資格・免許の取得率	学科長		3.6	4	4	4	4	3	4	4	3	4	3	3
	4-15 卒業生の社会的評価	学科長		3.2	2	3	4	4	3	3	4	2	4	3	3
基準５　学生支援	5-16 就職等進路	学科長	3.7	3.8	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4
	5-17 中途退学への対応	学科長		3.9	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4
	5-18 学生相談	学科長		3.9	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
	5-19 学生生活	学生部長		4.0											
	5-20 保護者との連携	学科長		3.6	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	2
	5-21 卒業生・社会人	学科長		3.2	2	4	4	3	3	3	4	3	3	3	3
基準６　教育環境	6-22 施設・設備等	学科長	3.8	3.7	4	4	4	4	4	4	2	4	4	4	3
	6-23 学外実習、インターンシップ等	学科長		3.7	4	3	4	3	4	4	4	3	4	4	4
	6-24 防災・安全管理	学生部長		4.0											
基準７　学生の募集と受入れ	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか	広報部長	4.0	4.0											
	7-26 入学選考	学生部長		4.0											
	7-27 学納金	学生部長		4.0											
基準８　財務	8-28 財務基盤	事務局長	4.0	4.0											
	8-29 予算・収支計画	事務局長		4.0											
	8-30 監査	事務局長		4.0											
	8-31 財務情報の公開	事務局長		4.0											
基準９　法令等の遵守	9-32 関係法令、設置基準等の遵守	事務局長	4.0	4.0											
	9-33 個人情報保護	事務局長		4.0											
	9-34 学校評価	副校長		4.0											
	9-35 教育情報の公開	副校長		4.0											
基準10　社会貢献・地域貢献	10-36 社会貢献・地域貢献	副校長	4.0	4.0											
	10-37 ボランティア活動	副校長		4.0											

AT＝アスレティックトレーナー学科
DO＝DOビジネス学科

目　　次

教育目標と本年度の重点目標の評価 1

基準１　教育理念・目的・育成人材像　【平均評定：４．０】. 2

1-1　理念・目的・育成人材像 3

基準２　学校運営　【平均評定：４．０】 4

2-2　運営方針 5
2-3　事業計画 6
2-4　運営組織 7
2-5　人事・給与制度 8
2-6　意思決定システム 9
2-7　情報システム 10

基準３　教育活動　【平均評定：３．８】 11

3-8　目標の設定 11
3-9　教育方法・評価等 22
3-10　成績評価・単位認定等 33
3-11　資格・免許の取得の指導体制 44
3-12　教員・教員組織 55

基準４　学修成果　【平均評定：３．６】 66

4-13　就職率 66
4-14　資格・免許の取得率 72
4-15　卒業生の社会的評価 79

基準５　学生支援　【平均評定：３．７】 86

5-16　就職等進路 86
5-17　中途退学への対応 93
5-18　学生相談 100
5-19　学生生活 111
5-20　保護者との連携 112
5-21　卒業生・社会人 120

基準６　教育環境　【平均評定：３．８】 131

6-22　施設・設備等 131
6-23　学外実習、インターンシップ等 138
6-24　防災・安全管理 145

基準７　学生の募集と受入れ　【平均評定：４．０】 146

7-25　学生募集活動は、適正に行われているか 146
7-26　入学選考 147
7-27　学納金 148

基準８　財務　【平均評定：４．０】 149

8-28　財務基盤 149
8-29　予算・収支計画 150
8-30　監査 151
8-31　財務情報の公開 152

基準９　法令等の遵守　【平均評定：４．０】 153

9-32　関係法令、設置基準等の遵守 153
9-33　個人情報保護 154
9-34　学校評価 155
9-35　教育情報の公開 156

基準１０　社会貢献・地域貢献　【平均評定：４．０】.....157

10-36　社会貢献・地域貢献 157
10-37　ボランティア活動 158

評定の基準）

評定４＝適切（実施率＝100％）

評定３＝ほぼ適切（実施率＝50％以上 100％未満）

評定２＝やや不適切（実施率＝25％以上 50％未満）

評定１＝不適切（実施率＝25％未満）

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和７年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
「志魂医才」 本校の創立以来掲げてきた教育理念であります。 豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、愛情と誇りを持って超高齢化社会に向かっている国民の 0 歳から 100 歳までの健康な生活に寄与し、社会貢献できる人材の育成を目指す。 豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、国民の健康に寄与できる人材の育成のため「挨拶」「感謝」「感動」「責任」を重んじる教育目標。 １．人格の形成 （1）他人への思いやり、自分の可能性を最大に伸長しようとする謙虚さと誠実さを涵養する	１.授業改善のための研究会の実施 ２.資格試験全員合格に向けた組織的対策の実施 ３.卒業後の進路指導の一つとしての企業説明会の改善実施 ４．地域と連携し、各種イベント等への積極的参加	１．主体的な授業研究会を前年度に引き続き実施。学科内外の多くの教員が参加した結果、それぞれの授業の現状と課題を共有して改善の方向性が一層 明確になった。 ２.資格試験合格に向け、各学科とともに組織的な対策を講じ、試験の傾向分析をし、計画的に進められた。 ３．キャリアサポートセンターを中心とした企業説明会の企画・運営が行われ、学生の積極的な参加につながった。 ４．主催事業としてのシンポジウムやフォーラムを始め地域と連携してチャリティイベントなどを行った。	特に無し

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	校 長　赤 木　恭 平

基準１　教育理念・目的・育成人材像　【平均評定：４．０】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念と目標・ビジョンに関して日常的に教職員・学生も意識するような環境作りを行っている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	校 長　赤 木　恭 平

1-1　理念・目的・育成人材像

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
1-1-1　理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念や教育目標･目的に基づいた人材像｢プロフェッショナルな医療人」の育成を目指す	定められている。	特に無し。	
1-1-2　育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にする。	明確にしている。	特に無し。	
1-1-3　理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	全学科において０歳から１００歳まで動ける身体づくりをサポートできる人材の育成を目指している。	取り組んでいる。	特に無し。	
1-1-4　社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療･スポーツの側面から社会のニーズに応えるための構想を抱く。	取り組んでいる。	特に無し。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念やビジョンは教職員だけでなく学生に共有できるよう 、入学式からイベントや行事でも常に伝達できるよう心がけ､一体となって達成に向かっていく方向です。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	校 長　赤 木　恭 平

基準２　学校運営　【平均評定：４．０】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎朝の職員朝礼による情報の共有の徹底など、 毎日を滞りなく運営していくための施策など、また毎月行う管理者会議による情報の共有などを通して体制を整えている。 さらに、日報制度による日々の学生の様子や教職員の情報を各部署の長が取りまとめ、校長が吸い上げるような仕組みとしている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	校 長 赤 木 恭 平

2-2　運営方針

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-2-1　理念に沿った運営方針を定めているか	常に理念を意識し､運営方針を文書化することで教職員に周知する。	周知できている。	特に無し。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念だけでなく、法人の理念も周知し、理念に沿った行動ができるように努めている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	校 長 赤 木 恭 平

2-3　事業計画

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-3-1　理念等を達成するための事業計画を定めているか	短期・中期の計画を策定する。執行体制、業務分担等を明確にする。	明確にしている。	特に無し。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	校 長 赤 木 恭 平

2-4　運営組織

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-4-1　設置法人は組織運営を適切に行っているか	理事会および評議員会の組織運営を適切に行っている。また適宜、寄附行為の改正を行う。	定例理事会・評議員会の開催、寄附行為の変更および登記手続きを行っている。	特になし	理事会議事録 評議員会議事録
2-4-2　学校運営のための組織を整備しているか	学校運営に必要な事務および教学組織を整備する。 必要な委員会組織等の会議体を整備する。	学校運営や教学の状況を共有するために、月に一度、管理者会議を開催している。	特になし	管理者会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
規程や規則等を作成し、必要に応じて更新している。また、理事会・評議員会等も滞りなく定期的に開催している。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長　西 田 真 紀

2-5　人事・給与制度

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-5-1　人事・給与に関する制度を整備しているか	採用計画、昇任昇級基準を明確にし、適切な人事考課を行う。	適切な評価を行うために、評価基準に加えて個別面談を取り入れてる。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課に関して、毎年より良いものへと更新を重ねている。	外部コンサルタントのアドバイスを得て、評価制度を策定している。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長　西 田 真 紀

2-6　意思決定システム

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-6-1　意思決定システムを整備しているか	教務･財務等の意思決定の権限を規則・規程等で明確にする。	全ての事項において、書面で意思決定ができるように稟議書等の回付を行っている。	特になし	稟議書 報連相シート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務および財務に係る意思決定システムを構築し、必要に応じて規則や規程の追加や更新を行っている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長　西 田 真 紀

2-7　情報システム

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-7-1　情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	リプレイスを予定しており今後の業務内容を考慮し情報管理システムを検討する	今後の IT 活用方法を検討・調査し、長期活用できる仕組みの構築を行う	現状のシステムをベースに不足部分を新規システム、機器にて補う	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ネットワーク機器のリプレイスを予定しており、現状のシステムをベースに業務スピードの改善・コミュニケーションの円滑化を図っていく。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	IT 事業部　　千 田 直 哉

基準３　教育活動　【平均評定：３．８】

3-8　目標の設定

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	「志魂医才」の精神のもと、幅広い教養と専門性の高い技術を身につけ、国民の健康に真に寄与できる人材を育てる。	成績向上を図るため、授業外における特別講義の実施、学内外での実習機会の提供、担任による定期的な進路指導等を実施する。	課題：学習意欲低下がみられる学生。解決方向：個別対応や面談等を通じて意欲向上を図る取り組みを行う。	学科会議議事録、授業シラバス
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	基礎科目、専門基礎分野ならびに専門分野の区分に準じて対応する。	学生便覧に明記し、新学期ごとにオリエンテーション内で各講義の狙いと到達レベルについて説明を実施している。教育内容の体系化を図るため、カリキュラムマップの整備を進める。	なし	学生便覧、学事日程、時間割

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的に実施される学科会議において、教育理念、ビジョン及び行動指針の共有を図っている。これを踏まえ、教員間での協議を重ね、教育方針並びに到達目標を設定し、明文化している。また、各担任を通じて学生への周知を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に準ずる	豊かなる教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち､愛情と誇りをもって国民の真の健康に寄与できる人材の育成	なし	学生便覧、HP
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育課程に準ずる	1 年次は基礎､2 年次は応用、3 年次は臨床と段階を経た教育	なし	学生便覧、HP

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員等に対する挨拶、授業準備等の自主性、座学と実技に関する習得度を補正する補習や寺子屋などの実施。	担任制の導入。国家試験対策での寺子屋制度導入。 実技室開放による技術力向上と人間性の育成。 掲示物や呼びかけによる規律の強化。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	ディプロマポリシーに則る	授業シラバスを作成している	なし	理学療法学科授業シラバス
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	カリキュラムマップに則る	授業シラバスに授業目標や到達度評価を明文化している	なし	理学療法学科授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業実施に先立ちディプロマポリシーに則ったカリキュラムマップを作成し、カリキュラムマップに準じて授業シラバスにて各科目の到達度を明文化している。学生自身の理解度を把握する必要がある。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に準ずる。	ホームページ、学生便覧にて公表している。	なし	ホームページ 学生便覧
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育理念に準ずる。	授業シラバスに授業目標、評価基準を明文化している。	なし	授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念や学科のポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）を策定し目標を明文化し公表。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程の編成方針、実施方針を文書化する。	看護学科シラバスに教育理念を踏まえて、3つのポリシーを明記している。	なし	看護学科シラバス
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	看護学科の目標とする教育到達レベルを明示する。	教育理念を踏まえて、教育目的・目標を明確にしており、それから、各学年の到達目標を作成している。	なし	看護学科シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護学科シラバスに教育理念を踏まえ、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを明記し、各学年の到達目標を作成している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	本校の教育理念および教育目標に基づき、学科の教育理念・教育目標を定め、それに基づいて教育課程を編成する。	学科の教育理念および教育目標を基盤として、カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーを設定し、それらに基づいた教育課程を編成・実施している。	なし	・学生便覧
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	歯科衛生学教育コア・カリキュラムおよび本学科のディプロマポリシーに基づき、修業年限に応じた教育到達レベルを設定する。	到達目標を達成するため、必要な科目を体系的に配置し、学修の段階に応じて適切な順序で履修できるようカリキュラムを編成している。	なし	・歯科衛生学教育コア・カリキ ュラム-教育内容ガイドライン ・授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生学教育コア・カリキュラムに準拠し、本学科では歯科衛生士として求められる基本的資質および能力の養成を目的としている。 その達成に向け、卒業時までに修得すべき実践能力（知識・技術・態度）を具体的に明示するとともに、到達目標との整合性を図りながら、体系的かつ段階的に履修できる教育課程を編成している。	歯科衛生学教育における一定水準の質の担保にとどまらず、本校の教育理念および教育目標に基づき、独自性のある教育プログラムを体系的に構築している。具体的には、「生涯健康スポーツ論Ⅰ・Ⅱ」の履修および生涯健康スポーツトレーナー資格の取得を通して、口腔の健康と全身の健康との関連を理解し、予防・健康増進の観点から包括的に支援できる歯科衛生士の養成を目指している。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に基づいた学科の教育目標を明確に定め、学生に周知する。	HP に教育目標と 3 つのポリシーを公表している。学生にも周知している。	なし	介護福祉学科授業シラバス HP　パンフレット
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	日本介護福祉士養成施設協会が作成している教育方針に従い、シラバスに科目の目的、到達目標、教育内容を明確に定め達成できるように取り組んでいる。	シラバスに授業目標や到達度評価の方法を、授業開始時に書面で説明、周知している。	なし	介護福祉学科授業シラバス・教員作成講義内容文書 HP　パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校が定めた教育目標を達成するため、今後とも学科運営を行っていく。日本の介護福祉を学ぶ上で必要となる専門的で、実践的な知識及び技術を習得し、即戦力として活躍できる人材の育成を目指していく。	日本文化に触れられるような授業や介護に必要な専門用語や日本語の習得ができるよう学習支援を行っている。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	本校の教育理念に基づき、3つのポリシーを定め､学生指導に従事している。	3 つのポリシーの周知を図り、その都度、学生指導をしている。	特になし。	学生便覧　学事日程 学校 HP AT 学科学生心得 現場実習心得
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	科目ごとに到達目標を定め､学生の到達レベルに応じて評価をしていく。	各科目のシラバスにおいて、到達目標への到達度を評価している。	特になし。	シラバス

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
本学科の教育目標として、3 つのポリシーを作成しており、そこに記載されている内容に準じて教育を展開し､スポーツ業界へ貢献できる人材を輩出していく。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に基づき、整体セラピストとしての倫理観と基礎知識、身体ケア技術の修得と、社会人基礎力を養成する。	基礎知識の反復学習を基盤とし、サロンシミュレーションによる実践的学習を行い、振返りを通して改善と向上を図る。	なし	学生便覧
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーにて明確にしている	シラバスにて授業目標・到達目標の方法を明確にしている	なし	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学内授業に加え、地域行事でサロンシミュレーションを実施し実践力を養うとともに、振返りを通して改善と満足度向上を図る。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に基づいた学科の目標を定めている	HP に公表している 多言語で内容を示している	なし	HP
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	シラバス上に科目の目的、教育内容を明確に示している。	シラバスに記載されている	参照枠に適合したカリキュラムの開発	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標のもと学科運営、授業運営を行う。認定日本語教育機関申請を念頭に参照枠にも基いたカリキュラム開発を学科全体で取り組み、日本で活躍できる人材を育成に貢献する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	本校の教育理念に基づいた学科の目的･教育目標を明確に定め、教員・学生への周知を徹底する。	日本での就職に必要な知識や技能を段階的に習得できるよう科目を配置している。	企業との連携をさらに深め、外国人材に求められる能力や業務内容を教育課程に反映させていく。	ホームページ、学科パンフレット、シラバス
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	基礎科目、専門分野、実習・演習と段階を踏んだカリキュラムを構成し、修業年限に応じた教育到達レベルを設定する。	シラバス上で各科目の目的、教育内容を明確に定め、オリエンテーションを通じて、学生の理解と実現に努めている。	理解度に差が生じる場合があるため、個別指導や補習を行い、学生の到達度に応じた学習支援を行う。	ホームページ、シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本学科では修業年限に応じた教育到達目標を設定し、ビジネス知識の習得を段階的に行っている。また就職活動支援を通して、日本企業で働くために必要な知識・技能の習得を図っている。今後も学生の理解度に応じた指導を行いながら、教育内容の充実と学習成果の向上に努めていく。	パソコン・簿記等のビジネス関連の授業のほか、課題解決演習やキャリアデザイン等の日本社会での将来を見据えた科目を実施している。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

3-9　教育方法・評価等

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	学科長を中心に学科教員が連携し、定期的に学科会議及び教育課程編成委員会を開催している。これらの場において、教育目的及び教育目標の共有を徹底するとともに、教育課程の編成・見直しを行っている。	基礎科目、専門基礎分野、専門分野、学年別の習熟段階を考え、話合い、カリキュラムの構成を組んでいる。	なし	学科会議議事録
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会で業界団体の理事や業界の代表取締役を招いて、定期的に外部の意見を反映させる。	年に2回、教育課程編成委員会の実施、その後、学科会議を数回実施し、意見を取り入れたカリキュラムの考案。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	医療人としてふさわしい人間性の育成を目的とし、マナーや礼節を実技・実習を通して学ぶ教育を行う。	臨床実習や就職セミナー等、学外における学習、学内におけるマナー教育を実施している	なし	シラバス、学外セミナー参加者一覧表
3-9-4　授業評価を実施しているか	全科目において実施している。	全学年の学生を対象に、すべての科目について授業評価を実施している。	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
半期ごとに開催する教育課程編成委員会において、業界団体理事や企業代表取締役等の外部有識者を招聘し、本学科の教育課程に関する報告および意見聴取を実施している。聴取した意見については、学科内での継続的な協議を通じて精査し、教育課程の編成および改善に体系的に反映している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	学生便覧に準ずる	ステップアップ方式を実施	なし	学生便覧、HP、シラバス
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成員会の提言を反映	臨床現場から得られる情報や考えを教育現場に反映 教育課程編成委員の先生方の意見を反映	なし	第１回・第２回教育課程編成員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	企業説明会を実施	企業説明会の参加や企業への見学等に参加 就職アンケートの実施。	内定が遅い学生への指導 定期的なアンケートの実施や面談する	企業説明会
3-9-4　授業評価を実施しているか	授業評価アンケートを実施	前期・後期で実施		前期・後期の教員評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術、愛情と誇りを持って国民の真の健康に寄与できる人材を育成するため、教育課程とともに、教育課程編成員会いただいた提言を反映させた教育の実施。	教育課程編成員会の年２回の実施。 企業説明会の実施。 授業評価アンケートの年２回の実施。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーに則る	カリキュラムマップを作成し、基礎科目、専門基礎科目、専門科目に分配する。	なし	学則別表授業科目一覧
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	実践性のある教育の充実	教育課程編成委員会および第三者評価の実施やその意見を反映している	体験型の授業を積極的に取り入れる。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	臨床実習によるキャリア教育を実施する	見学実習、評価実習、総合臨床実習においてキャリア教育を実施している		学則別表授業科目一覧
3-9-4　授業評価を実施しているか	授業内容、授業方法の充実	授業終了並びに単位認定にかかる試験実施後に、授業評価を実施している 試験終了後は、解答解説を行う	授業評価の供覧による他の教員の意見聴取を実施する。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業のさらなる向上を目指し、授業評価フィードバック票を活用する。また、資格取得後のキャリア形成を視野に入れた臨床実習の充実を図るため、カリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。	特になし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーに則る。	シラバスを作成している。	カリキュラムマップやカリキュラムツリーを作成し、教育課程を可視化させる。	学生便覧 ホームページ シラバス
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	キャリア教育・実践的な職業教育の充実を図る。	教育課程編成委員会を年に２回実施し、外部からの意見を取り入れている。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	学生の社会的・職業的自立を目指し、必要な能力を身に付ける。	臨床実習においてキャリア教育を実施。様々な分野の実習施設を確保している。	なし	シラバス 実習登録施設一覧
3-9-4　授業評価を実施しているか	授業内容や授業方法などの授業の質の向上を目指す。	学生による授業評価アンケートを実施後、教員によるフィードバックを作成している。	なし	授業評価アンケート 授業評価アンケートフィードバック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
キャリア教育や、より実践的な職業教育を意識したカリキュラムを作成し、授業評価を通して振り返りを実施している。今後は教育課程の可視化を図るためにカリキュラムマップやカリキュラムツリーを作成。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供する。	シラバスに基づいて、適切な教育内容を提供している。	教育内容の精度を高めるため、教育内容について学科会議等にて検討していく。	看護学科シラバス
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行う。	教育課程編成委員会の外部講師からのご指摘や実習病院等より、評価を頂くようにしている。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫する。	各専門領域の授業において、各学年に応じた内容で工夫している。	授業で実施している内容について、学科会議等にて教員間での共有化を行っていく。	
3-9-4　授業評価を実施しているか	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行う。	教務部との連携による授業評価を実施している。	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスに基づいて適切な教育内容を提供し、教育課程編成委員会の外部講師からのご指摘や実習病院等より評価を頂いたうえで、授業内容の構築を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	本学科のカリキュラムポリシーに基づき、教育目的および教育目標を達成するための教育課程を体系的に編成する。	講義・演習・実習を効果的に組み合わせ、段階的に専門知識および技能を修得できるよう工夫している。	なし。	・学則別表 10 授業科目一覧 ・教育課程編成委員会議事録
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	歯科医療業界における人材ニーズや専門性の動向を踏まえ、教育課程の内容に外部の意見を反映させる。	教育課程編成委員会を年2回実施し、現場で求められる能力について意見を収集し、教育内容の改善に活用している。	なし。	・教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	学生が自己の将来像を描き、その実現に向けて主体的に行動できる能力および態度を育成する。	臨床実習や国家試験対策、進路指導を通じて、歯科衛生士としての職業意識の形成およびキャリア形成を支援している。	学年進行に応じた段階的なキャリア支援（初年次教育、臨床実習、就職支援）を明確化し、キャリア教育の充実を図る。	・授業シラバス
3-9-4　授業評価を実施しているか	授業の質の向上を目的として、授業評価を実施し教育改善に活用する。	学生による授業評価を実施し、授業内容や授業方法に対する意見を収集している。評価結果は教員間で共有し、授業改善に活用している。	なし	・授業評価アンケート ・授業評価フィードバック票 ・授業アンケートフィードバッ ク

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
基礎分野・専門基礎分野・専門分野を段階的に配置するとともに、講義・演習・実習を効果的に組み合わせることで、実践的かつ専門的な職業教育の質の確保を図っている。さらに、教育課程編成委員会における外部有識者の意見や、授業評価結果を踏まえ、教育内容および授業方法の改善を継続的に実施しており、教育水準の維持・向上に組織的に取り組んでいる。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーに沿って教育課程を編成している。	年毎に授業の内容を見直し、次年度に活かせるよう検討、実施している。また、非常勤講師にも授業内容について検討しながら、講義内容を共有している。	本学科は留学生が多く日本語能力にも大きな差があるため、定期的に日本語能力の確認を行い、指導していく。	学則別表授業科目一覧
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	実践性のある教育の充実 年２回　６月　11 月に教育課程編成委員会を実施している。	教育課程編成委員会の外部委員の意見を反映し、実践的な教育ができるよう努めている。	卒業生や、学生の就職先より意見聴取を行い、教育課程へ反映する。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	社会的・職業的自立に向け 1 年次から実践的な介護実習を実施している。	評価実習・介護実習において実習指導者にも協力をいただき、キャリア教育を実施している。	学生数の増加に伴い実習施設が不足しているため、実習先の確保を行う。	学則別表授業科目一覧 実習の手引き 実習報告書
3-9-4　授業評価を実施しているか	授業内容、授業方法の充実	授業終了並びに単位認定にかかる定期試験実施後に、授業評価を行っている。	授業評価の供覧による他の教員の意見聴取を実施する。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムポリシーに沿った授業を実施し、国家資格取得を目指す。 また、介護福祉士としての知識・技術・倫理観を学び即戦力となる教育を展開させる。	介護実習指導者会議に学生も参加し実施 障害者との交流（ボランティア活動）への参加

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	本学科で資格取得するために必要なカリキュラムを運用し、資格取得できるよう対策授業を充実させている。	資格試験の合格を目指し、体系的なカリキュラム展開ができおり、実技試験対策については、既卒生らの協力を得ている。	実技試験対策の充実を図るために多くの既卒生らに協力を得られるシステム構築を図る。	学事日程
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	年２回教育課程編成委員会を開催している。	教育課程編成委員より、現状をご教授いただき、その意見を速やかにカリキュラムに反映できている。	教育課程編成委員会にて委員の先生方からの意見をスピード感を持って行動することが必要である。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	自分の将来に向け、目標を設定させ、達成するために必要な能力を習得させられるようにしている。	学生らに対し、スケジュール表を義務化し、Plan・Do・Checkを習慣化させられるようサポートしている。	学生らが自分自身の行動を肯定的に捉えられるようなサポートが求められる。	スケジュール表
3-9-4　授業評価を実施しているか	前期・後期の２回、授業評価アンケートを実施している。	今後の授業運営のあり方を考えるきっかけとなっている。	教員間で授業運営の意見交換をする機会を設けていく必要があると考える。	授業評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程編成委員会にて委員の先生方からいただいた意見を、教育目的、カリキュラム内容に反映させている。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	資格取得に必要なカリキュラムを実施している	基礎分野、専門基礎分野及び専門分野を設定し、知識と技術の習得の段階に応じた講義・補講を実施する。	なし	学則別表授業科目一覧
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会は実施してない。その為、外部意見としては臨床現場実習先の担当者より意見を頂き反映している。	臨床現場実習において、実習先担当者の評価を受け、その内容を学生との面談を通してフィードバックしている。	なし	臨床現場実習評価表
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	社会人基礎力をもった人材の育成を実施している	学生の目的意識を明確にし、サロンシミュレーションによるチームビルディングを通して社会人基礎力の向上を図る。	なし	シラバス
3-9-4　授業評価を実施しているか	改善点を明確にすることにより、授業の質の向上を目指す	評価結果を基に改善点を明確化し、学生にとって理解しやすい講義となるよう教育内容の改善を図る。	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けた知識・技術の習得に加え、社会人基礎力及び地域貢献について学び、校内外でサロンシミュレーションを実施する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	ディプロマポリシー並びにカリキュラムポリシーに沿って教育課程を編成している	毎年授業内容を見直し、改良検討している	教育理念に従いCan doに基づいたカリキュラム作成の検討を学科全体でしていく	
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	なし	なし	なし	
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	日本における文化や礼儀、社会的なルールなどが理解できるようにサポートし、日本社会において自立して生活ができるようにする	授業や課外活動などで日本社会を学ぶ機会を設けている	外部との交流をもっと増やす必要がある	
3-9-4　授業評価を実施しているか	前期・後期、それぞれに授業評価アンケートを実施している	アンケートの結果を各教員が確認し、次の授業に生かすようにしている	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
認定日本語教育機関申請を念頭に参照枠にも基いたカリキュラム開発を学科全体で取り組む。参照枠に沿ったカリキュラム作成を進め、充実した教育を提供できるように努める。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	本校の理念に基づき、日本社会および企業で活躍できる外国人材の育成を目的として教育課程を編成している。	基礎科目、専門科目などを体系的に配置し、段階的に学習できるよう教育課程を構成している。	なし	学生便覧、シラバス
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	年 2 回の教育課程編成委員会の実施と実習先企業との連携及び、ヒアリングを行う。	外部からの意見を反映し、より実践的な教育ができるよう取り組んでいる。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	日本企業で円滑に就業できるよう、キャリア教育を通して社会人として必要な知識の習得を目指す。	インターンシップやゲストスピーカーによる講義を実施し、実際の業界や仕事への理解を深めている。	早い段階からキャリア教育を行い、個別指導を通して学生一人ひとりに応じた支援を行っていく。	なし
3-9-4　授業評価を実施しているか	授業の質の向上を目的として授業評価を実施している。学生からの意見や要望を把握し、授業内容や指導方法の改善に生かす。	授業評価アンケートを実施し、学生から授業内容や理解度、指導方法などについて意見を収集し、結果を教員間で共有している。	事後対応にならないよう、今後も授業構成の見直しや、学生指導を積極的に行う。	授業評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目的に基づき教育課程を編成するとともに、教育課程編成委員会など外部の意見を取り入れながら教育内容の充実を図っている。またキャリア教育やインターンシップなどを通して、実践的な学びの機会を今後も提供していく。	企業演習、テーブルマナー実習、宿泊実習、インターンシップ

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

3-10　成績評価・単位認定等

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に明記の上、教員及び学生に対して周知徹底を図っている。	学生便覧の配布および内容の明記を行い、教員及び学生への周知徹底を図っている。また、オリエンテーションにおいて担任による説明を実施し、理解の深化を促進している。加えて、保護者に対しては説明会を開催し、教育方針等の共有を行っている。	なし	学生便覧、授業シラバス
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	症例報告の発表内容をデータ及び書面により提出させ、全教員による評価及び共有を実施している。評価については、ルーブリックに基づき客観的かつ統一的に行っている。	臨床実習終了後に症例報告会を実施し、オンライン発信や実習先への案内を通じて外部評価を受ける体制を整備している。	なし	臨床実習症例報告データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価及び修了認定基準は学生便覧に明記の上、担任を通じて各学生へ周知している。加えて、学生と教員間の認識の統一を図るため、定期的に説明機会を設けている。また、症例報告及びポスターセッションの作成を課し、学内発表会を実施している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に準ずる	中間・期末試験の評価基準を説明のうえ、総合的に勘案して評価する。 シラバス、概要を配布。	なし	学生便覧、シラバス、 卒業判定会議資料、 進級判定会議資料
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	該当なし	該当なし	なし	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
学生に対して成績評価を明確に伝える。 学科教員間による定期試験内容の確認、科目担当教員と担任との情報共有による円滑な運用を実施する。	科目担当、担任、学科への報告、成績判定会議と複数の精査を実施する。

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　馬男木　亨

理学療法学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示する。	学則等に則り、授業シラバスに成績評価基準および割合を明文化している。	なし	理学療法学科授業シラバス
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	臨床実習後の症例研究について成果を把握する	ポートフォリオを作成し、その成果を確認している	なし	臨床実習指導要綱

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
授業シラバスに成績評価基準を明確に示し、学生の学習到達度については、ポートフォリオを活用してその成果を把握している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　中山　大貴

作業療法学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	判定基準を明文化し、事前に提示する。	シラバスに明文化している。 成績を公示している。 成績表を送付している。	なし	学生便覧 卒業判定基準 成績判定会議議事録 シラバス
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	判定基準を明文化し、事前に提示する。	実技試験を実施している。	なし	学生便覧 シラバス

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
成績評価や単位認定に関わる判定基準を明文化し、事前に学生に提示することで、適切に運用。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示する。	学則に規定されており、学生便覧を使用して学生への説明を実施している。	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	該当なし	該当なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生便覧を使用して学生への説明を実施できている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学則および学生便覧に基づき、成績評価および修了認定基準を明確に定め、適切に運用する。	成績評価の基準については学則および学生便覧に明記し、オリエンテーション等を通して学生に周知している。	なし。	学生便覧
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	各科目に対する評価項目および評価基準を設定することで、到達状況を把握する。	実技チェックや臨床実習のレポートやケース表、臨床実習評価表などでその成果を把握している。	学習機会の均質化が課題。標準化された評価項目およびケース課題を整備するとともに、学内演習やシミュレーション教育を活用し補完する。	・臨床実習評価表 ・実技チェック表 ・ケース表 ・実技試験採点

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価および修了認定基準については、学則および学生便覧に明確に規定し、オリエンテーション等を通じて学生へ周知している。さらに、評価の客観性・統一性を確保するため、学科内での協議や臨床実習指導者会議を通じて評価基準の共有および見直しを行い、適切な運用に努めている。今後は、評価基準・実習内容の標準化を推進し、より一層の教育の質保証に取り組む。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準について、学則等に規定し、学生に周知する。	授業シラバスに成績評価基準を明確化している。	なし	介護福祉学科授業シラバス
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	介護実習後に、実習報告会を行っている。	実習報告会には実習指導者にも参加してもらい、評価をいただき、今後の課題に取り組むことができるようにしている。	なし	実習の手引き 実習報告会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準や評価穂応報はシラバスに記載している。また、新入生及び在校生オリエンテーションや授業開始時に学生へ説明を行うなど、周知を徹底している。	留学生に対しては、説明の内容が分かりやすいように文章を簡単な日本語に代え便覧を作成し配付、時間を掛けて説明を行っている。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	シラバスに記載されている到達目標､成績評価基準に準じて運用している。	最終講義にて終講試験を実施し､その結果を踏まえて､成績評価を進めている。	なし	学生便覧 シラバス
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	該当なし。	該当なし。	なし。	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
シラバスに記載されている内容を踏まえ、成績評価をしている。 また､学生らの成績については､学科会議内にて教員間で情報共有している。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧、シラバスにて明確にしている	成績や各検定の評価基準については明確にし、学生に周知している	なし	シラバス 学生便覧
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	各担当教員による評価、臨床現場実習では、現場実習担当者が評価し集約している。	各種評価項目は講義内で事前に説明し、評価後は担当者より改善点についてフィードバックを行う。	なし	実技評価表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
評価項目を事前に学生に明示しており、各担当者は評価基準を基に公平に評価している	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価、単位認定の基準を明確にし、学生へ周知する	シラバスに記載してある	学生の日本語能力を様々な評価方法を取り入れ、再検討していく必要がある	
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	スピーチ大会などを通して、日ごろの日本語学習の成果を発表している	学校関係者だけでなく、地域の方々にも見ていただいており、出向いてスピーチをする機会もえることができ、継続できている。	もっと周知し、様々な関係の方々との交流ができるようにしていく。	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
自己評価、ピア評価、ポートフォリオなどの様々な評価をこれから取り入れていき、多角的に、正確に評価でできるように努める。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価、単位認定の基準を明確に定め、学生の学習成果を適切に把握し、到達度に応じた評価を行う。	成績評価は試験、課題、出席状況等を総合的に判断し、シラバスに記載した基準に基づいて実施している。	なし	シラバス、インターンシップ単位認定規定
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学習成果を可視化するため、授業や実習の際に、成果発表・プレゼンテーションを通して把握する。	成果発表・プレゼンテーションを実施し、内容や表現力、理解度を総合的に評価している。	なし	課題解決演習　評価表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の学習成果を適切に評価している。また今後も評価基準の明確化と発表機会の充実を図り、学習成果の可視化と教育の質向上に努めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

3-11　資格・免許の取得の指導体制

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	柔道整復師の資格について教育課程上で明確に位置付ける。	学生便覧への明記	なし	学生便覧
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	専門の教員を配置し、適切な教育指導体制を整えている。	授業外でも全学年において特別講義を実施している。	なし	学科会議議事録 教員名簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・免許取得率100%を目標とし、進級・卒業・国家試験取得率を高める為、各担任や専門教員による特別講義・学生サポートを行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	はり師・きゅう師の取得	資格取得に向けた教育課程を実施。寺小屋を含めた国家試験対策。	なし	学生便覧。ＨＰ
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	取得率 100%	授業の充実や補習の実施。担任制度。就職担当制度。	なし	学生便覧。ＨＰ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
はり師・きゅう師の国家資格の取得率 100%を目標とする。その為の、カリキュラムを実施、国家試験対策補習を実施する。	担任制以外に国家試験対策のための寺子屋を実施する。 学科独自のゼミナールを開講する。 現場で活躍する臨床家の先生の実技授業がある。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にする。	学生便覧並びに学校案内パンフレットに明記している	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	資格・免許の取得について、指導体制を整備し、不合格者に対する指導体制を整備する。	資格取得に向けての授業を実施し、学科教員を専属で配置し指導している。	成績不良者に対し、随時的な履修状況の把握を行うために面談を行う。不合格者に対し、聴講計画を学科教員と立てる。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けて、成績不良者に対する指導体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格･免許は､教育課程上で、明確に位置づけているか	カリキュラムを通して目標とする資格・免許の取得を目指す。	ホームページ、募集要項、パンフレットに記載している。 各種証明書を発行している。	なし	ホームページ 募集要項 シラバス 成績証明書・卒業証明書
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	資格・免許取得の指導体制を整える。	専任教員を配置している。 シラバスを作成している。	なし	教員名簿 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・免許取得の指導体制が整っており、カリキュラムを通して資格・免許取得を目指している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	看護師免許の内容・取得の意義について明確にする。	明確にしている。	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	看護師免許の取得について、指導体制を整備する。	就職担当、国試担当を明確にし、指導している。また、教員全体で資格・免許取得に向けてゼミ制度を設けて、個別にも指導している。	学科会議等にて、担任及びゼミ担当教員間での情報共有を行い指導していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師免許取得に向けゼミ制度を設け、個別にも指導を行い、会議等にて情報提供を行い共有化を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	歯科衛生士国家試験受験資格、生涯スポーツトレーナーが取得できる教育課程を編成する。	目標とする資格・免許を学生便覧並びに学校案内パンフレットに明記している	学生により理解度や目標意識に差が見られる点が課題。初年次教育において職業像の理解を深める機会を充実させる。	・学生便覧 ・学校案内パンフレット
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	国家試験対策授業を設置し、教員による個別指導や学習支援を行っている。また、既卒者に対しては聴講生制度を設け、国家試験受験に向けた継続的な学習支援を行っている。	国家試験対策時間を設置し、教員が個別指導している。既卒者は、聴講生制度で対応している。	成績下位層において国家試験対策授業への出席率や学習継続に課題が見られる。心理的支援や保護者連携等も含めた支援体制の充実を図る。	・学則施行細則 ・聴講生制度

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
歯科衛生士国家試験合格率100%を目標として、教育課程上に資格取得を明確に位置づけ、体系的な指導体制を整備している。学生の学習状況は随時把握し、国家試験対策授業や個別指導、既卒者に対する聴講生制度を通じて継続的な支援を行っている。今後は、学生の目標意識のさらなる向上および学習支援体制の強化を図り、より高い教育成果の達成を目指す。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標としている国家資格について、資格内容・取得の意義について明確にする。	学生便覧並びに学校案内パンフレットに明記している。 また、オープンキャンパスや入学生オリエンテーションでも資格取得について説明を行っている。	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	資格・免許取得について、指導体制を整備し、不合格者に対する指導体制を整備する。	資格取得に向けての授業を実施し、授業以外にも時間外で補講や自主学習ができるよう環境を整える。	成績不良者に対し、授業時間外での補講計画を立て、定期的に理解度を確認する。	学生便覧

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
資格取得に向けて、成績不良者に対する指導体制の充実を図り、即戦力として活躍できるよう教育を行っていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標とする資格を取得できるよう、養成カリキュラムに準じて教育課程を編成している。	単位認定されることにより、受験要件をクリアすることができる。	学習内容の理解度を定着させられるような授業展開を検討していかなければならない。	シラバス 資格取得一覧表
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	授業開始前･終了後に教室開放を行い、学習環境の提供をしていく。	学生からの質問があれば、適宜学科教員が対応している。	学生のさらなる学習意欲の向上を目指していく必要がある。	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
資格取得合格率100%を目指し、授業終了後には教室開放をしており学習環境の整備をしている。	学習習慣の定着を図るために、学生の学習スケジュール立案のサポートをしている。

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標とする資格の内容・意義について明確にする	学生便覧・学校案内パンフレットに明記している。	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	資格取得率 100%の指導体制を整える。	資格取得に向けての授業や試験前の対策講座の実施と、理解度に合わせた補講を実施している。	なし	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
知識と技術を学び資格取得 100%を目指す。講師・講義・試験対策は毎年見直し実施している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	JLPT、B2 以上を目標としている。	ＪＬＰＴの取得を目指している。試験対策も実施している	ＪＬＰＴ以外の検定の周知もしていく必要がある	
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	学科一丸となり、年 2 回の試験への意識付け、指導をしている	授業に対策を盛り込み、希望する学生には授業外での指導、補習も行っている	合格率があげられるよう、日ごろからの意識付け、動機付けをしていく必要がある。外部熟達度試験を長い期間で取り入れていく。	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
参照枠で示される CEFR の新しい評価基準 JLPT に加えられたため、学生と共有し、具体的な点数を目標にして指導を続ける。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	就職に必要な資格取得を教育の一環と位置付け、教育課程の中で明確に示している。	資格対策の科目を組み込み、日本語能力試験やビジネス関連の資格取得を目指した指導を行っている。	個人差により、資格試験の理解度に差が生じる場合は、個別指導や補講を行い、学生のレベルに応じた支援を強化する。	シラバス
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	学生の資格取得を支援するための指導体制を整備し、計画的な学習支援を行うことを目標としている。	資格対策の授業に加え、模擬試験を行い、試験対策を実施している。	個別指導や補講を実施している。	なし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けた指導体制を整備し、授業や模擬試験、個別指導を通して学生の学習を支援している。今後も学生の理解度に応じた支援を行い、資格取得の向上に努めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

3-12　教員・教員組織

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を満たした常勤教を確保。	要件を満たした常勤教員が８名在籍。	なし	学科教員組織図、学科教員職務分掌
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員研修の実施。	年１回以上の外部研修を行っている。学内での教員研修、FD 員会の取り組み。	なし	学外研修内規第３条第１項
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	学科教員組織図及び機構図の作成。	年度ごとに役割分担を作成。	仕事量の適正。 組織図及び機構図に沿った学科運営および面談を実施する。	学科教員組織図、学科教員職務分掌、学科内機構図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を満たした教員を確保し、年１回以上の研修を受け、組織図及び機構図に沿った学科運営を行っている。	鍼灸学修士・博士課程を修了した教員が在籍している。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を満たした常勤教を確保。	要件を満たした常勤教員が８名在籍。	なし	学科教員組織図、学科教員職務分掌
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員研修の実施。	年１回以上の外部研修を行っている。	教員の資質向上。 学内・学外の研修に参加するよう指導している。	学外研修内規第３条第１項
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	学科教員組織図及び機構図の作成。	年度ごとに役割分担を作成。	仕事量の適正。 組織図及び機構図に沿った学科運営および面談を実施する。	学科教員組織図、学科教員職務分掌、学科内機構図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を満たした教員を確保し、年１回以上の研修を受け、組織図及び機構図に沿った学科運営を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目を担当するため、教員に求める能力･資質等を明確にする。	授業シラバスに授業を担当する教員の実績を明記している。	認定理学療法士や学位取得などを検討する	理学療法学科授業シラバス 教員名簿
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質、教育力向上のための研修計画を定め、運用する。	専門領域の見識並びに教育力向上のための研修計画を年度始めに立て、運用している。	授業聴講を適宜行う	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	分野ごとや授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築する。	授業を専門領域の分野にそった教員にて連携しながら実施している。	なし	理学療法学科授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
認定や専門理学療法士などの資格や要件を備えた教員を配置し､教員の質を担保するための研修の運用に努め､専門領域間での連携を測りながら授業を実施する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を備えた教員を配置する。	専任教員を配置している。	なし	ホームページ 実務経験者一覧 教員名簿 教員研修終了証
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上を目指す。	授業アンケートを実施している。 FD 委員会を運営している。 学会、研修会等に参加している。	専任教員の学位取得など、WFOT（世界作業療法士連盟）の基準へ近づけるよう取り組む。	授業アンケート FD 委員会議事録 研修報告書
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制を整える。	職務分掌を作成している。 委員会を開催し、業務を遂行している。	なし	職務分掌 年間スケジュール 学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を備えた教員が適切に配置され、定期的に資質向上を目指した取り組みがなされている。また、各委員会を設置し、学科会議を通して適切に運用する。WFOT（世界作業療法士連盟）のガイドラインに則り教員の資質向上を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目を担当するため、教員に求める能力･資質等を明確にする。	臨床経験や教育経験を踏まえて､授業科目の決定をしている。	教育経験が浅い者がいるため、適時サポートしていく。	
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援する。	学会や研修会・学習会に関する情報提供を行ない､参加を推奨している。	主体的に取り組めるように適時情報提供を行うとともに、業務の改善を検討していく。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	分野毎に必要な教員組織体制を整備する。	専門分野については、各領域のリーダーを決めて体制づくりをしている。	学科会議の際に､領域間の課題等を協議できる場を設け､体制を強化する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床経験や教育経験を踏まえて授業科目の決定をしている。学会・研修会等に関する情報提供を行ない、参加を推奨している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業シラバスに担当教員の実務経験を明記し、教育内容に応じた適切な教員配置を行っている。	資格・要件授業シラバスに授業を担当する教員の実績を明記している。	教育内容の高度化および多様化への対応が課題である。外部講師の活用を推進し、最適な配置を継続的に見直す。	・授業シラバス ・履歴書 ・各免許証コピー
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	専任教員認定歯科衛生士の資格を取得する。	各教員のレベルに合わせ、歯科衛生士専任教員講習会（Ⅰ～Ⅵ）へ参加している。	なし。	・専任教員認定歯科衛生士制度規定 ・歯科衛生士専任教員講習会修了証
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	業務分掌に沿った組織体制による学科運営を行う。	学科内で業務一覧表を作成し、各自の役割や業務を明確にしている。	業務の属人化や負担の偏りが生じる可能性がある点が課題。業務内容を定期的に見直し、安定的かつ効率的な運営体制の確立を図る。	・業務一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門分野を担当するために必要な資格・要件を備えた教員を確保し、適切な教員組織を構築している。また、教員の資質向上を目的として歯科衛生士専任教員講習会への参加を推進し、教育内容の質の向上に努めている。今後は、研修成果の共有および組織的活用、業務体制の最適化を図り、教員組織全体のさらなる機能強化を推進する。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目を担当するための、専門知識と技術、実務経験、資格等を明確にする。	授業シラバスに、授業を担当する教員及び非常勤講師の実績を明記している。	なし	介護福祉学科授業シラバス 教員名簿
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	関連分野の知識向上のため研修は重要であると考え、教員には研修を受けるよう周知している。	専門領域の研修並びに教育力向上のための研修に参加し、教育向上に努めている。 参加後は、教員間で共有できるよう研修内容を報告する。	なし	教職員研修規定 学科会議議事録
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	分野ごとや授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築する。	関連性の高い専門領域の分野に沿った教員にて連携しながら実施している。	なし	学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格や要件を備えた教員を配置し、教員の質を担保するための研修の運用に努め、専門領域間での連携を測りながら授業を実施する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格認定校基準をクリアできるよう教員を配置している。	各教員の専門性を考慮し、担当科目を決定している。	資格要件を満たす教員を確保する科目が困難なものもある。	
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	学内・学外での研修会へ積極的に参加するよう誘導している。	学内では、FD 委員会、学外では学会参加へ積極的に参加している。	学会参加に関しては、日程の調整が難しい場合もある。	FD 委員会議事録 学内研修にかかる費用負担に関する内規
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	業務分掌を作成することで教員の業務内容を明確化している。	学科会議にて業務の進捗状況を確認している。	特になし。	学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の資質向上を目指し、学内・学外での研修会へ積極的に参加できるようサポートしていく。 業務分掌を作成し、担当する業務に対して責任の所在を明確にしている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を満たした教員を配置する。	経験豊富な現役セラピストが講師を務め、学生が質問しやすい環境づくりに努めている。	なし	教員名簿 シラバス
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上への取組みは必要事項とし、教員研修等に計画的に参加する。	学内学外の研修に積極的に参加している。	なし	授業アンケート 教員研修の実績・計画書
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制を整備する。	専門分野によって非常勤や他学科の教員との連携を取り、円滑な体制づくりをしている	なし	教員名簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を満たした教員を確保し、適切な教員組織を構築している。また、学内学外の研修参加にて質の向上に取り組んでいる。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を備えた教員を確保している	専任・非常勤含め要件を満たしている	教員の増員が必要	
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	日本語教育に関連する研修に積極的に参加する	研修に参加し資質向上に努めている	学科内での研修も積極的に行っていく必要がある。特に参照枠についての勉強会が必要と感じる。	
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	役割分担をし、組織的に動けるようにしている	担任などが自分の担当するところを把握し、会議などで共有している。学科全体の TODO化し、マニュアルを作成した。	人員不足により一人の業務量が重くなっているところもあるので解消していく必要がある。また参照枠に基づく教育についての知識を備えた教員の育成も急がれる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
参照枠に基づくカリキュラムや認定校について、学科で協力して知っていく必要があるので、積極的に学科内で会議、研修をしていく。参照枠を具体的に授業を落とし込めるように一人ひとりのレベルアップが必要。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	有資格者や業界経験のある教員の配置を行っている。	専門知識や実務経験を有する教員を配置している。また外部講師や企業関係者を招き、実践的な教育を行っている。	なし	教員名簿
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の質向上を図るため、教員の専門性および指導力の向上に継続的に取り組むことを方針としている。	学内研修や外部研修へ積極的に参加し、教員間での情報共有を行っている。	なし	教職員研修、学科会議議事録
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	円滑な学科運営と質の高い指導を実現するため、教員の役割分担を明確にし、組織的に活動できる体制を構築する。	学科会議を定期的に実施し、情報共有や課題の確認を行い、組織的に教育活動を進めている。	なし	学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を備えた教員を確保するとともに、研修を通して教員の資質向上に取り組んでいる。また役割分担や情報共有の体制を整備し、今後も組織的な学科運営を進めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

基準４　学修成果　【平均評定：３．６】

4-13　就職率

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職率 100%の達成を目標に掲げ､体系的な就職支援体制を構築している。結果、毎年100%の就職率を継続的に達成している。	年2回実施する就職説明会には全学年の学生が参加している。加えて、来訪企業のパンフレットを一覧として整理し､学生が自由に閲覧できる体制を整備している。	なし	求人票、就職説明会 PDF

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職支援の一環として､1年次から3年次にかけて担任による個別面談を実施している。加えて、臨床実習を通じた外部での現場研修やマナー講習等を行い、実践力の向上を図っている。また、企業説明会への参加を積極的に促し、全学年の学生が参加している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	企業説明会の実施。 企業との求人に対する面談。	企業説明会に学生を積極的に参加させている。また、求人の掲示やファイリング等を行っている。	企業と学生とのミスマッチ。 企業側からの求人説明、治療見学の参加を促す。面接や履歴書、電話の受け方指導。	キャリアサポートセンター資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
企業説明会への参加を促すだけでなく、就職に対するアンケートを実施し、就職状況を把握し、サポートする。	2名の就職担当を配置し、担任ともに学生の就職を支援する。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	100％の就職率を目標とする。	就職先の見学や面接などの相談に随時対応している。 求人票の掲示や企業によるセミナーを開催している。	なし	施設見学届 就職試験受験届 就職内定届 求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率100%を目標とし、就職相談に随時対応する。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職希望学生に対して就職率100%を目標とする。	求人票の提示や就職相談、就職セミナーを実施し随時対応している。	なし	求人票 就職試験報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望学生に対して就職率100%を達成するため、就職活動（見学、履歴書作成、面接）に関する相談に随時対応する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	学生の就職活動を把握し支援する。	担任が、活動の状況を会議等で定期的に報告するようにしている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
早期から就職担当教員やゼミ担当教員が個別に対応を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	看護学科　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職率 100%の達成を目標とし、学生一人ひとりの希望や適性を踏まえた就職支援を組織的に行うことを方針とする。	就活セミナーや就職説明会を実施し、歯科衛生士としての就業イメージの形成を図っている。	国家試験不合格者への就職支援が課題。不合格者に対しては進路の再設定を行うなど、多様な進路支援体制充実を図る。	・求人票 ・内定通知書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率 100%の達成を目標として、就活セミナーや就職説明会の実施、個別面談、履歴書・面接指導等を体系的に行い、学生の進路選択を段階的に支援している。また、求人情報や内定状況を学科内で共有し、組織的な就職支援体制を構築している。今後は、国家試験対策のさらなる強化とともに、多様な学生に対応した進路支援の充実を図り、就職率の維持・向上に努める。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職希望者の就職率は 100%を目標としている。	担任と国際事業部を中心に就職相談と履歴書の作成の指導を行っている。また、施設見学などを随時行う。	なし	学科紹介パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が就職活動に向け安心して取り組むことができるよう、海外事業部及び介護施設と連携し就職 100%を目指す。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職希望する学生に対して、教員を配置し、就職活動をサポートしている。	現状、就職希望する学生の内定率は100％を継続している。	学生の就職先に関するニーズを的確に把握して、サポートしていく	就職活動進捗リスト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望する学生の内定率100％を目指して、学生サポートしていく。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職希望者の就職率 100％を目標とし、就職説明会への積極的な参加を促す。	求人票の提示、相談対応、履歴書作成の補助・面接の練習を行っている。	なし	求人票 内定通知書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生一人ひとりの希望に応じた就職支援を行い、就職率の向上に努めている。また、就職希望者は１２月までに内定がもらえるよう早めの行動を促す。	正社員を希望せずアルバイトを望む学生や、大学進学など進路変更もあり、頻繁な個別対応が必要となっている。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	進学が基本となるので、基本的には自身で進めていくが、サポートをしている	履歴書の作成、面接の指導などを行っている。また、他部署と連携して日本社会や業界、ビザ、特定技能などの助言も行う	自身が現在の状況で就職ができるか否かということ事体わからないなどの日本における就職の知識がない。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
基本的に進学する学生が多いので就職の機会はほとんどないが、大卒の学生、特定技能を希望する学生など多様な進路があるので、しっかり学生の話を聞いて対応していかなければならない。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

DO ビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	就職率 100%を達成するため、早期から就職指導を実施する。	授業内で就職活動の対策を実施している。さらに個別面談を通して学生の状況に応じた支援を行っている。	早期からのキャリア教育や個別支援を強化していく。	学科パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職活動の支援や企業連携を通して、就職率の向上に取り組んでいる。今後も学生一人ひとりに応じた支援を行い、就職率のさらなる向上に努めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

4-14　資格・免許の取得率

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	100%の達成を目標として設定している。	補講を実施し、土日を含めた指導体制を整えている。その結果、全国平均を上回る 90%以上の合格率を毎年達成している。	既卒生の支援体制の整備	本校 HP、報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格実績及び合格率について、全国水準との比較分析を実施している。さらに、模擬試験結果との整合性を検証し、課題の抽出および改善策の実施を通じて、合格率の向上を図っている。合格実績及び合格率について、全国水準との比較分析を実施している。さらに、模擬試験結果との整合性を検証し、課題の抽出および改善策の実施を通じて、合格率の向上を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	合格率100%を目標に資格・免許取得対策を実施。	国家試験対策補習の実施。 個別指導の寺子屋実施。 国家試験対策補習の自習課題作成。	各々の学生にあった勉強法の確立。学生のレベルにあった対策資料を作成する。 満点テストの実施	R7年度国家試験対策出席簿 R7年度国家試験対策ファイル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
はり師・きゅう師の国家資格取得を目指し、教育課程を編成し、また国家試験対策を実施、各々の学生に対応している。	担任制。個別寺子屋制。毎月の模試実施。国家試験対策係の設置。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行う。	学生の実力を随時把握し、個別の支援体制を強化するために面談を実施している。	学生個別の対応だけでなくクラスの特性に応じた支援体制の検討を行う。	学生便覧 学校案内パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
指導方法の成果を定期的な模擬試験で検証し、合格率の向上を目指して指導体制および支援体制の充実を図る。国家試験対策をアップデートし国家試験合格率100%を継続していく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	合格率 100%を目標に試験対策を実施している。	対策資料を作成している。 模擬試験結果の分析後、活用している。	なし	学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格率 100%を目標に過去の国家試験問題の傾向分析、模擬試験の結果から学生個人の傾向と苦手分野を分析しセミナーを実施する。また、成績不振の学生に対して個別にて対応する。入学前教育・初年次教育を充足させ、合格率の維持を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	模擬試験の実施、特別講義、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援を行う。	3 年次の年間計画に従って、教員等による特別講義、成績低迷者への個別指導など学習支援を行っている。	1 年次より計画的に積み上げ方式で、3 年間の学習支援体制を検討していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特別講義やセミナーの実施、模擬試験の結果をもとに成績低迷者への個別指導など学習支援を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	歯科衛生士国家試験受験資格の取得および歯科衛生士免許取得率100%を目標とし、計画的な国家試験対策を実施する。	外部模擬試験および校内模擬試験を計画的に実施し、学生の学習到達度を把握している。模擬試験結果の分析を行い、フィードバック時には個別面談を実施している。学生の理解度や課題に応じて補習や個別指導を行い、習熟度に応じた学習支援を行っている。	成績低迷者の基礎学力の定着および学習習慣の確立が課題。早期に学習状況把握し、段階的な補習・個別指導を実施する。	・模擬試験結果

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生士国家試験合格率 100%を目標として、外部模擬試験および校内模擬試験を計画的に実施し、学生個々の学習状況を把握している。模擬試験結果の分析をもとに個別面談や補習、個別指導を行い、習熟度に応じた学習支援体制を整備している。今後は、成績低迷者への早期介入および個別最適化された指導の充実を図り、より一層の資格取得率の向上を目指す。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	学生が資格を取得できるような授業を行う。	合格率向上のため、補講や放課後学習を実施している。	学生全員が資格取得できるよう、個々の学力に応じた学習方法を計画し指導を行う。	模擬試験・過去の国家試験問題分析データ　問題集

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けて授業を中心に対策を行っている。また模擬試験を実施し、結果の分析、苦手分野の克服に努めている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	資格試験合格率100％を目標に学生サポートをしている。	スケジュール表で学生の学習計画を把握している。その中で、学習状態を把握し、アドバイスしている。	学習習慣定着に多くの時間を要するため、長い時間をかけてのサポートが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格試験合格率100％を目標にし、試験前・試験後の学習計画の立案サポート、模擬試験後のフィードバックなどを行っていく。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	資格試験合格率 100%を目標として、試験対策を実施している。	資格試験を熟知した講師が、事前対策や補講を行い、習得状況を踏まえて合格率向上に努めている。	なし	学生便覧 学校案内パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各担当講師が講義内容や試験対策の見直しを行い、資格・免許取得率の向上を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	授業はもちろん、個別対応、補習などで対応する	授業内での対策、補講、授業外でも個別対応を実施している	合格が難しい学生への支援を充実させなければならない	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習としての指導はもちろん、合格することへの動機づけも大事にしながら指導をしていく。特に勉強についてこられない学生への個別対応はより具体的に組織的に取り組んでいかないといけない。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	資格取得を通して専門知識の定着と就職率の向上を図ることを目標とする。	授業内で対策を実施している。さらに模擬試験や補講を行い、資格取得を促進している。	個人差があるため、個別指導の強化をしていく。	なし

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
資格取得に向けた授業や補講、個別支援を通して、取得率の向上に取り組んでいる。今後も学生の理解度に応じた指導を行っていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　久保　佑生

4-15　卒業生の社会的評価

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の社会的評価を、随時および定期的に把握する体制を整えていく。	卒業後も卒業生と継続的に関係を築ける組織･コミュニティを形成している。	なし	就職先一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の社会的評価を随時・定期的に把握する体制を整備するとともに、卒業後においても継続的な関係性を維持できる組織・コミュニティを構築している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の就職先の把握	卒業前の就職状況アンケートの実施。	その後の社会的把握。企業側から、就職後の近況報告や求人説明の際に同席し、現状の報告を受ける機会が増えてきている。今後その機会を増やしていく。	R７卒業連絡先情報一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業後の就職状況アンケートを実施し、就職率及び就職地域などを把握。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の名簿を作成し、進路を把握する。	卒業生の就職先一覧を作成し、進路を把握している。	なし	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先一覧を作成し、卒業生の進路を把握する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	就職先を把握する。 学会等への取り組み状況を把握する。	就職先一覧を作成している。 学会発表へのアドバイスをしている。	なし	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職先一覧を作成し、学会発表などの取り組み状況を把握する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の就職先の医療機関等を訪問するなどして、卒後の実態を把握する。	実習病院等に就職した学生については、聞き取り調査をしている。遠方の卒業生については、学生より情報を収集している。	卒業後の実態の把握は、電話や来校時に把握していく。	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習病院等に就職した学生については、看護部長などから直接評価をうかがっている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の進路状況や就職先での評価を把握し、教育内容の改善および学生指導に活かすことを方針としている。	卒業生の就職先を把握するとともに、訪問や面会の機会を通じて、就職先から卒業生の勤務状況や評価について聞き取りを行っている。	卒業生の状況把握は個別の聞き取りに依存しており、情報収集の継続性確保が課題。情報を定量的に把握する仕組みを構築する	・就職一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先との面会や聞き取りを通じて勤務状況や評価を把握し、その内容を学科教員間で共有することで、教育内容の改善および学生指導に活用している。今後は、卒業生および就職先からの情報収集を体系化・定量化し、継続的な分析と改善につなげることで、教育の質保証および社会的評価の向上を図る。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	把握するように勤めている。	就職先の施設と情報交換を行い、卒業生の様子などを伺う機会を設けている。	なし	卒業生就職先一覧データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生全員の社会的評価を正確に把握できるように今後も就職先の施設との密接な信頼関係を構築できるよう取り組んでいく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の卒業後進路を把握していく。	卒業後の学生状況を把握は心がけているが、社会的評価については把握しきれていない。	既卒生との情報をいかに収集するのかを検討していく必要がある。	就職活動進捗リスト 就職先一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の卒業後の動向を把握していく。また、必要に応じて、資格試験のティーチングアシスタントとして、採用していく。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の就職先の把握する	アルバイトから社員雇用となる例もあり、本人だけでなく企業から近況報告を受けることもある。	離職後は把握できていないため、把握方法の検討が必要	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生や就職先からの情報をもとに社会的評価を把握し、教育活動の改善に活かしている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	把握することが重要である	現状把握できていない	調査する必要がある	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生の進路は多岐にわたるため、把握はなかなか難しいが、連絡を取るなどして、把握を進めていかなければならない。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	社会での活躍は教育の成果であると考えるため、定期的に卒業生へ連絡をし、状況を確認する。	就職先企業への連絡や卒業生との面談を通して、社会的評価を確認している。	転職や母国への帰国等で連絡をとれない卒業がいる。	卒業生就職先一覧データ

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
卒業生の社会的評価をすべて把握することは難しいが、できる限り正確に把握できる体制を整えていきたい。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　久保　佑生

基準５　学生支援　【平均評定：３．７】

5-16　就職等進路

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	担当者を配置し、進路支援と企業情報の整備を行っている。	学年ごとの進路希望に応じた個別支援を実施するとともに、企業情報を更新・整理し、学生が自由に閲覧できる環境を整備している。	なし	学科会議議事録、求人票一覧・企業訪問実施記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担当者を配置し、学年ごとに進路希望に応じた個別支援を実施している。また、企業に対しては毎年公平に訪問・挨拶を行い、パンフレット及び求人票を最新情報へ更新・ファイリングすることで、学生が自由に閲覧できる環境を整備している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職率 100%を目標とする。	学科に就職担当教員を2名配置。面談や求人のファイリング。	学生及び企業との面談を通じ、ミスマッチを軽減する。	キャリアサポートセンター資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科に 2 名の就職担当を置き、学生及び企業への対応を行う。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	進路支援を充実させるために、組織の体制を整備する。	進路相談等を早期に行う。求人票の掲示や面接練習、履歴書の確認など、就職活動を支援する取り組みを行っている。	なし	病院案内パンフレット 求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職を含む進路支援の一環として、求人票の掲示や面接練習などを実施し、組織的な体制を整備する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	進路支援のための組織体制を整備する。	就職担当教員１名配置している。 履歴書作成や面接指導などを実施している。	なし	就職セミナー　事前課題

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
進路支援のために就職担当教員を 1 名配置し、教員間での情報共有を図りながら、履歴書作成や面接指導を実施する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職など進路支援のための組織体制を整備する。	就職担当教員を決め、組織体制を整備している。またゼミ活動も活用している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職など進路支援のために就職担当教員を決め、組織体制を整備している。また、ゼミ担当教員が個別指導を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	進路支援体制を整備し、学生の希望や適性を踏まえた就職支援を行うことを方針としている。	進路希望調査を実施し、学生の希望や適性を把握したうえで、求人内容や各施設の特色に関する情報提供を行っている。	なし	・就職調査票 ・就職指導用資料

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
路希望調査により学生の希望や適性を把握し、求人情報の提供、履歴書添削、面接指導等を個別に実施している。また、学校求人については教員が仲介することで、学生が安心して就職活動に臨める体制を整備している。さらに、業界動向や求人情報は学科会議で共有し、学科全体で組織的な進路支援を行っている。今後は、支援体制の体系化および情報提供の充実を図り、より効果的な進路支援の実現を目指す。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	国際事業部と担任が連携し就職支援を行う。	早期より介護施設等と連携を取り、アルバイト雇用から就職につなげるための取り組みを行っている。	学生一人ひとりに合った就職指導が必要となるため、学校で施設合同就職説明会を実施する。	施設求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率100%を達成するため、早期より就職へ繋げるための介護施設に協力いただき支援を実施している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職希望する学生に対し、教員を配置し、100%の内定率を目指していく。	学科会議で、学生の就職活動中の情報を進捗リストに入力して情報共有している。	資格試験の準備があるため、就職活動が遅れることが多い。早めに就職希望者のニーズを把握し、行動していけるようなサポート体制が必要である。	就職活動進捗リスト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職を希望する学生の内定率100%を目指し、学生サポートをしていく。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職を希望する学生対応の体制を整備しする	就職説明会への参加を促し、求人票は自由閲覧とし、履歴書指導や面接練習などの就職支援を行っている。	なし	求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職説明会参加から面接までの支援体制を整えている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生一人一人の進路、希望を確認し、それに適する情報の共有や、情報の得方の指導、書類記入の指導を行う	担任を中心として、学生の面談、書類記入などの受験のサポート指導を行う	きめ細やかなサポートが必要なため、指導側の負担が大きく、学生自身でできるようになる指導を心がける。授業の CAN DO として組み込んでいく必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
面談やアンケート通して、希望する学校や職の解像度を高められる指導が必要になる。何よりも自身の未来は自身で考えるという基本的なところからの指導を大事にする。早い段階で授業に取り入れ、自身で実際に申請等ができるところまでして、教員側の負担を減らしていきたい。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生の進路決定を支援するため、組織的な支援体制を整備し､学生一人ひとりの希望や適性に応じた就職支援を行う。	早期より面談を実施し､学生の状況に応じた進路指導を行っている。	細かな支援が必要となるので、教員間および関係部署との連携を強化していく。	就職活動の記録

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
支援体制を整備し､組織的に進路支援を行っている。今後も関係部署との連携を強化し、学生の進路実現に努めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　久保　佑生

5-17　中途退学への対応

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	退学率 0%、進級・卒業率100%を目指す。	退学者の軽減に向け、学内研修への参加状況や欠席数、授業への取り組みを数値化し、基準に基づいた早期対応を心掛ける。		進級判定会議・卒業判定会議資料、学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率 0%、進級・卒業率 100%の達成を目標に掲げ、学内研修参加状況、欠席数及び学習状況を数値化し、明確な基準に基づく早期対応体制を構築することで、退学者の軽減に取り組んでいる。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	退学率 0%を目標に掲げている。	担任・副担任との面談実施。学業面での補習や寺子屋体制。日常における学生への声掛け。	担任･副担任では対応できない案件は､カウンセラーの先生が対応。	学生便覧､退学状況の分析記録 R7 年度学生指導・面談ファイル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習面での支援及び学校生活面でも担任・副担任が支援する体制を取っている。	カウンセラー教員の対応可。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	中途退学の低減に向けた学内における連携体制を構築する。	成績低迷者に対して担任による面談を行っている｡また学内での専任カウンセリングを実施している。	なし	カウンセリング集計

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生や保護者との定期的な面談を実施し､退学を検討している学生を早期に特定することで、中途退学の低減を図る。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	学生の学校生活状況を把握する。	定期的な学生面談を実施後、保護者との連携を図っている。個別の学習支援を実施。 退学率軽減のため教員研修を実施。	なし	学生個人記録 教職員研修

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績不振による中途退学低減に向けて、個々に応じた学習支援（学習方略・援助要請）を実施する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での指導体制を整備する。	定期的に担任やゼミ担当教員が面談を実施している。また、教務部・広報部とも連携しながら面談を実施している。	今年度も退学率の低減が図られてきているため、今後も定期的な面接の実施、学習指導の充実を図る。	面談報告書 カウンセリング集計 退学者集計一覧（管理者会議資料）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的に担任やゼミ担当教員が面談を実施しており、退学率の低減が図られてきているため、今後も定期的な面接の実施、学習指導の充実を図っていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	入学した学生が全員卒業できることを目標とし、退学率の低減に努めている。	入学時、年度末成績確定後などの節目に面談の機会を設け、学生の学習状況や生活状況の把握に努めている。面談は担任および学科長が実施している。	入学前の進路選択時において志望動機が十分でない場合、退学に至る傾向が見られることが課題。学生の意向を早期に把・支援を行うことで、退学防止につなげる。	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率の低減に向け、入学時や年度末などの節目に面談を実施し、学生の学習状況および生活状況の把握に努めている。入学前の進路選択時において志望動機が十分でない学生に、学習意欲の低下や退学に至る傾向が見られることが課題である。このため、入学初期からの個別面談やキャリア教育を通じて学生の意向を早期に把握し、職業理解の促進および学習意欲の向上を図るとともに、教員間での情報共有を強化し、組織的な支援体制のもとで退学防止に取り組む。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-17-1　退学率の低減が図られているか	学生が抱える悩みを相談できる環境を提供し、担任や教員で支援する。	面談や日頃から声かけを行うなどして、状況を把握するように努めている。また担任へ他教員が情報提供を行い早期の対応を行う。	学生の経済状態や生活環境などを把握し、問題が生じた場合の対応について学生と一緒に解決方法を考えて行く。	面談記録

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
学習面・生活面において、教員ができる限りの支援を行うように取り組んでいる。国際事業部と学科で情報の共有を行い、正しい対応をするよう努めている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	退学者０名を目指し、常日頃からの学生観察をしていき、その状況を学科会議の中で教員間で情報共有していく。	週１回、スケジュール表を提出させることで、学生の学習状況を把握している。 また、年２回の教育面談を実施している。	スケジュール表の取り組みが甘い学生が多い。Plan-Do-Check を学生自らが運営できるようにさせていく。	学科会議議事録 学生動態表 スケジュール表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学後の退学者を出さないため、日頃より提出されているスケジュール表で学生の状況を把握していけるようにしていく。	年２回の個人面談を実施している。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	全員卒業を目標とし、コミュニケーション能力向上のための学習を工夫する	実習や活動を通じ関係性を深め、個別面談で不安や生活状況を確認。併学先の担任や保護者とも情報共有している。	人との関りが得意ではない学生で、希望があればスクールカウンセラーの先生が対応	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
願望の明確化と、コミュニケーション能力の向上。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	学生の勉強面だけではなく、生活面、金銭面に関する悩みなどの話を含めた相談を積極的にする。	普段のコミュニケーションに加え、面談を実施している。話しやすい環境づくりをする。	表面化しにくいことも多いので普段からの声掛けや学生の気持ちへの寄り添いを意識し話すやすい雰囲気をつくる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の悩みや相談を教員間で共有し、学科だけではなく、他部署との連携を強化を継続していくことが重要。面談について、業務が重なり行えない時などが発生したので、計画的にしていく。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　高野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	学生が安心して学習を継続できる環境を整備し、退学率の低減を図ることを目標としている。	出席や学習状況を定期的に確認し、早期に課題を把握している。学習や生活面での不安に対する支援を行っている。	早期対応と継続的な面談を通して状況把握を行い、個別に応じた支援を強化する。	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
出席管理や個別支援を通して、退学の予防に取り組んでいる。今後も早期対応と支援体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

5-18　学生相談

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置等により、支援体制の整備を行っている。	相談室を設置し、学生に対して利用方法等の案内を行い、相談体制の周知を図っている。	なし	カウンセリング案内文書、面談記録
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	該当なし	該当なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任カウンセラーの配置等により学生相談に関する支援体制の整備を行っている。また、相談室を設置し、学生に対して利用方法等の案内を行うことで、相談体制の周知を図っている。現時点で特筆すべき課題はなく、カウンセリング案内文書および面談記録により適切に運用・管理されている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	担任・副担任、カウンセラーの先生を置く。	担任・副担任、カウンセラーの先生が対応している。 日常における学生への声掛け。	なし	校舎内掲示 R7 年度学生指導・面談ファイル
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任・副担任及びカウンセラーの先生により学生相談体制を整備している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備する。	適宜、面談環境を設定している。学校専任でのカウンセラーの配置を行っている。	なし	カウンセリング集計
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
学生相談において専任カウンセラーの配置を行い、支援体制を充実する。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	担任・副担任 2 名での相談業務を実施している。 専任カウンセラーによる体制を整えている。	定期的な面談を実施している。 カウンセラーを配置している。	なし	学生個人記録
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任･副担任及び専任カウンセラーにより学生相談への支援体制を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備する。	専任カウンセラーを設置している。	タイムリーな対応ができるようにしていく。	カウンセリング集計
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	該当なし	該当なし		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任カウンセラーを設置し、学生へ個別の対応を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	学生の相談に適切に対応できるよう、組織的な学生相談体制を整備する。	相談内容に応じて学科教員が連携して対応している。また、必要に応じて学校のカウンセリング制度を利用できる体制を整えている。	相談内容の多様化に伴い、対応の標準化が課題。教員間での定期的な情報共有を行い、組織的かつ継続的な学生支援体制の充実を図る。	・カウンセリング案内
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任教員が日常的に学生相談に対応するとともに、必要に応じて学科教員間で連携し、さらに学校専任カウンセラーと協働することで、学生の状況に応じた支援を行っている。今後は、相談内容の共有方法の明確化や支援体制の標準化を図り、より組織的かつ継続的な学生支援体制の充実を目指す	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	担任を中心とした相談体制、学生が話しやすい環境づくりを行う。	担任をはじめ教員全員が相談に対応できるように情報共有を行い、体制を整えている。	学習面・生活面で様々な悩みを持った学生が相談しやすい環境を作る。	面談記録 学科会議議事録
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	担任を中心とした相談体制を整えている。	専門知識を持った職員や外国人スタッフを配置し、生活支援を行い、外国人相談窓口などのポスターも掲示している。	なし	面談記録 学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生個人の日常生活の状況を把握し、学生が相談しやすい環境づくりを整備する。問題が生じた場合には、専門知識を持った職員と連携し適切な対応をしていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	担任が窓口になり学生相談のヒアリングを行うようにしている。相談内容によっては、担当者を変更していく。	学生の状態によっては、本校カウンセラーのカウンセリングを受けるようにアドバイスしている。	カウンセリングの内容は共有されないため、対応が遅れることが懸念される。	面談シート
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	日本語でうまく表現できない場合もあるので、時間をかけてヒアリングをしていく環境を整えていく。	留学生の在籍なし。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校生活に関する相談事があれば、担任が対応するようにしている。該当学生の相談内容次第で、対応する教員を柔軟に変更するようにしていく。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	学生相談に対応できる組織体制を整備する。	担任への相談は随時受付けているが､内容に応じて専門家によるカウンセリングを活用できる体制を整えている。	スクールカウンセラーは希望時間が取りにくいため早めに予約｡教員は日頃から学生の変化に気を配る。	学生便覧
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	在籍していない。	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任による個別面談やスクールカウンセラーへの予約案内の実施により学生相談の体制を整備している	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	担任、留学生生活全般を対応する部署と連携し、勉強面、生活面に関する相談に対応できる体制	学科、留学生生活全般に対応できる部署と連携し、対応にあたっている	生活における悩みなど把握しきれていないこともあるので、より連携を強化していく必要がある	
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	担任、留学生生活全般を対応する部署と連携し、勉強面、生活面に関する相談に対応できる体制	学科、留学生生活全般に対応できる部署と連携し、対応にあたっている	生活における悩みなど把握しきれていないこともあるので、より連携を強化していく必要がある	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者が日本にいないことや日本語でまだ気持ちを伝えられない学生も多い ので、本人が抱える悩みも深刻な場合でも察知するのが難しい場合もあるので、関係部署との連携、通訳を駆使して学生が安心して留学生活が送れるようにしていきたいと思う。国籍も多様になり、様々な問題も出てくると思うが対応できるような体制にしていかなければならない。他言語に対応できる職員も増えたのでより連携を強くしていきたい。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	学生が相談しやすい環境を整え、学習面および生活面の課題に対し、適切に対応することを目標としている。	担任を中心とした相談体制を整備し、個別面談を定期的に実施している。	教員からの声かけた継続的な面談を実施していく。	面談記録
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	言語や文化の違いによる不安を取り除き、留学生が安心して学習ができるような環境を整える。	学習面や生活面に関する相談対応を行い、必要に応じて関係部署と連携しながら支援を行っている。	専門知識を持った職員や外国人スタッフを配置し、生活支援を強化していく。	なし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任を中心とした相談体制を整備し、留学生の特性に配慮しながら学習面・生活面の支援を行っている。今後も関係部署との連携を強化し、相談しやすい環境づくりと支援体制の充実に努めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

5-19　学生生活

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	公的機関の支援制度及び奨学金制度活用 個別相談による負担軽減	公的機関の支援制度及び奨学金制度を随時案内。 分割支払い・延納対応などによる負担軽減	なし	文部科学省高等教育の修学支援新制度 日本学生支援機構　給付・貸与奨学金案内
5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか	保健室の整備、医療機関の併設により学生の早期受診 カウンセラーの配置	系列のクリニックにて健康診断の実施 日常のケガ・体調不良についても即時受診可能 ガウンセリングの実施	なし	
5-19-3　学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	健康、運動などトータル面でサポートできる体制づくり	食事付寮などの委託案内 学校運営のジムを開放 クリニック受診料補助	なし	ドーミー学生寮案内
5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか	セミナー開催や、学生のセミナー参加への費用補助 ボランティア活動への参加	国際志学園主催のトレーナーセミナー参加費援助 行政主催やその他医療・スポーツ関係のボランティア活動への参加補助	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的支援体制で、学校法人国際志学園の奨学金制度や、入学時の負担軽減処置として入学金・学費の分割契約制度を実施している。今後も支援体制を継続していく。	校舎にクリニックを併設して、健康診断などが受診しやすい環境を整えている。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学生部長　　石井　勇一

5-20　保護者との連携

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	保護者との連携体制を構築する。そのための取り組みを行う。	入学後、保護者説明会を実施し、学科・資格・学校生活についての説明を実施。その後、担任を通じて、定期的に連絡を取る。	各学年で実施を検討している。	保護者説明会案内文書、学生面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者説明会（合同説明会）を実施すると共に、学生の成績・学校生活面における状況については、各担任より定期的な連絡が行われている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	保護者との連携	学生の状況を必要に応じて、保護者に連絡している。 また、前期後期の定期試験ごとに成績の送付している。 必要に応じ、三者面談を実施いている。	保護者に電話連絡が取れない学生への対する対応。 書面にて郵送する。	動態簿、学生指導

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クラス担任を介した保護者との連携強化。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	保護者の理学療法士に対する職業理解を促す	保護者オリエンテーションを実施している。 保護者会の実施を行っている	なし	保護者オリエンテーション案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、保護者オリエンテーションおよび保護者会を実施し、学事内容や理学療法士の職業に対する理解を深めてもらう。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	国家資格取得に向けて単位修得状況の連絡及び保護者の作業療法士に対する職業理解を促す。	学生状況に応じた保護者への連絡、面談を実施している。 成績表を郵送している。 説明会を実施している。	なし	各学年説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任を中心に保護者との連携及び職業理解の促進を図っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	保護者会を通して、学科の教育方針･教育方法等を知ってもらう。	年に１回保護者会を開催し、状況報告等を行っている。また､定期的に学生の状況について電話等にて報告している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年に１回保護者会を開催し､状況報告等を行い､保護者の看護学科の教育への理解を得られるようにしている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	保護者との信頼関係を構築し、学生の学習および生活面の支援を行うことを方針としている。	1・3年次に個人懇談を実施し、学生の学習および生活状況について保護者と情報共有を行っている。必要に応じて電話連絡等も行い、連携を図っている。	なし	・面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人懇談を通して学生の学習面や生活面について保護者と情報共有および意見交換を行っている。また、必要に応じて電話連絡等を行い、保護者との連携を図ることで学生の生活背景や家庭環境の理解を深め、学生支援に活用している。今後は、情報共有の機会や内容の標準化を進め、保護者との連携体制のさらなる充実を図る。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	学生の出席状況や成績、健康管理など定期的に保護者に連絡する必要がある。	留学生に関しては同居している家族を交え面談を実施、また日本人学生に対しては保護者を交え担任との三者面談を行っている。	なし	面談記録

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
学生の学習状況や出欠状況等に問題があれば、保護者に連絡を行い、情報が共有できるような体制を構築していく。また、留学生に対しても緊急な場合は同居家族（配偶者・親族）を交え面談を継続して行う。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	学習状況･生活状況に何らかの異変があった場合､速やかに保護者への連絡をしていく。	スケジュール表､年２回の学生面談表を踏まえ､学生の学習状況・生活状況を把握している。	特になし	在学生の緊急連絡先シート 学生動態表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の学習状況、生活状況に問題があれば、緊急連絡先に記載されている保護者に向けて速やかに連絡するようにする。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	保護者との信頼関係の構築を図る	欠席・遅刻が増加傾向にある場合､保護者に電話連絡にて現状報告と情報の共有を行う。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必要に応じて保護者への電話連絡･面談の実施にて学科に対する理解を深めてもらう。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	各学生の母国の両親とつぶさに連絡を取るというのは現実的に難しいところもあるので、連携が必要な場合はすぐに連絡を取れる体制をとることが大切である	学生に関して必要な場合は、母国語ができる人を通じて、連絡、相談ができるようにしている	関係部署との連携を強め、すぐに対応できるようにしていく	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
基本的には学生自身で考え対応してもらうことが多くなるが、緊急時には連携がとれるよう、現地と連絡できる部署との協力体制を構築していく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	学生の出席や成績、健康管理など、必要に応じて保護者へ情報共有を行う体制を整える。	出席や学習状況、健康面に問題がある場合、保護者へ連絡を行うようにしている。	留学生は保護者が海外にいることがほとんどのため、メール等を活用し、円滑に情報共有ができるようにしていく。	なし

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
必要に応じて保護者と連携し、学生の状況把握と支援に努めている。今後も連絡体制の工夫を行っていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　久保　佑生

5-21　卒業生・社会人

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に向け、卒業後も支援できる体制を整備する。	学校同窓会の設置、KMS サポート（専用のコミュニティ SNS）を通して、勉強会・セミナー、研修会を実施する。	内容の充実化を図る。	KMS サポート案内用紙
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	臨床実習を通じて各企業との連携を図り、再教育プログラムの開発を推進している。	臨床実習を通して、各企業との話し合いを実施し、教育プログラムの考案を行っている。	内容の充実化を図る	学科会議議事録
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	外部との連携を図り、求められるニーズの内容を把握し、教育に反映させる。	教育課程編成委員会や臨床実習会議を実施し、学校に求められる技術・知識・人間性を把握、学校教育に反映させる。	なし	教育課程編成委員会議事録 臨床実習会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業後も支援可能な体制として同窓会やコミュニティを活用した研修機会を提供するとともに、臨床実習や各種会議を通じて企業と連携し、ニーズを踏まえた教育内容の改善に反映している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	就職活動の活用	卒業生でも就職活動のため求人の閲覧等（鍼灸学科フロア以外に職員室に保管）を可能としている。	なし	キャリアサポートセンター資料
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	卒業生への学会・研修会への案内および参加	卒業生へは、ListJ を介して、継続学習機会・つながりを提供。	会員の登録率。 卒業式での案内。	公益財団法人日本健康スポーツ連盟　ListJ HP
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	学生のニーズに応じた環境整備の実施	各学年での面談を実施し、その中で学生の要望等を聴取している。日常における学生への声掛け。	なし	R7 年度学生指導

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ListJ による卒業生への支援体制の強化、卒後教育の一環として、研修会などの案内を情報として提供、また学生面談を通した学生ニーズの聴取を行う。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に対する研究支援を実施する。	卒業生の進学に関することや臨床研究などの相談を受け付けている。	教員が実施している研究活動への共同参加などの依頼を行う。	
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	卒業生に対する技術研修を実施する。	国際志学園にて実施している研修を受講できる体制を構築している。適宜卒業生にセミナーの案内をおこなっている	なし	Listj 会員制度
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生の入学動機を確認し、学修支援体制を構築する。	授業時間外の時間を使用して学習支援を行っている。	なし	時間割

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への継続的な学習支援を行うとともに、社会人学生に対する学習支援体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	個別での再就職支援や相談に対応している。	求人案内の提供や業務遂行のためのアドバイスを実施している。	卒業生全体に向けた研修会の実施	求人票
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	卒業生へ学会、研修会への案内をしている。		学校内での研修会の構築。	
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生の学習支援体制を構築する。	学業を遂行する上での定期的な面談と学習支援を実施している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への就職や学習支援、社会人学生に対する学習支援を実施。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	国家試験不合格者及び卒後の指導体制を整備する。	国家試験不合格者については、聴講生制度や学習指導、国試模試の受講など、個別対応を充実させている。	なし	聴講生制度について 聴講生証
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	Listj の卒業生の研修制度を活用する。	在学中から Listj の活用について説明し、卒業後も活用できるよう紹介している。	なし	学生便覧 Listj 制度
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	面談にて個別の支援方法を検討する。	定期的に担任が個人面談を行い支援している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験不合格者については個別対応を充実させている。社会人学生についても個人面談等で支援している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	聴講生制度 KMS サポート等の制度に則る。	卒業後も希望する者については、科目履修や KMS サポート を継続して受けることがで きる旨を案内している。	卒業生へ、制度の周知および利用促進が十分とはいえない点が課題。卒業時の案内に加え、定期的な情報発信を行い、体制の活用促進を図る。	・聴講生制度 ・聴講生志願書
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	産学連携を通じて卒業後の継続的な学習機会を提供する。	福岡県歯科衛生士会が企画する新人研修会の企画運営に専任教員が参画している。また卒業時に同研修会の紹介を行っている。	学校独自の再教育プログラムの開発･実施が十分ではない点が課題。引き続き、歯科衛生士会と連携し、卒後研修の情報提供および参加促進を行う。	・福岡県歯科衛生士会卒業生説 明資料
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	専門性の高い教育を提供する。	大学等で既に修得した単位については､既修得単位の認定を行っている。	社会人学生の多様な背景や学習ニーズへの対応が課題である。個々の経験や修得状況に応じた柔軟な指導および履修支援の充実を図る。	・学生便覧 ・既修得単位認定願

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生に対しては、聴講生制度や KMS サポート制度により、卒業後も継続して学習支援を受けることができる体制を整備している。また、福岡県歯科衛生士会と連携し、卒後研修の紹介および参加促進を行っている。さらに、社会人入学者に対しては既修得単位認定制度を活用するとともに､個々の経験や学習状況に応じた指導を行っている。今後は、卒業生支援の周知強化および社会人ニーズへの対応の充実を図る。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	卒業後の相談や求人、キャリアアップ等の支援ができるような体制づくりが必要である。	定期的に卒業生への連絡や、就職先へ卒業生の状況を確認している。	転職や生活面の支援体制を国際事業部と連携し強化していく。	卒業生アンケート
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	産学連携による卒業後の再教育プログラムは重要な取り組みであると考え、今後、卒業生に対し、開発・実施したいと考えている。	卒業生への学習の場・再教育の場が提供できるよう就職先の施設と連携しながら体制づくりを行う。	再教育プログラムの取り組みを検討する。	なし
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人への学習の場を提供することは重要であると考える。	介護施設で働いている技能実習生・特定技能１号の外国人に対し、スキルアップ講座を実施。	常に社会人のニーズの情報を収集し、教育ができるよう環境を整備する。	スキルアップ講座講義資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係部署と連携しながら卒業生への支援体制を強化していく。卒業生や社会人に対して、可能な限り支援を実施していきたい。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	聴講生制度、KMS サポートなどの制度を積極的に運用していく。	卒業後に資格取得を希望する学生らに理論・実技試験対策を実施している。	就職している卒業生に関しては、参加できる時間に制約がある。	KMS サポート
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	卒業後のスキルアップを目指していけるシステムを構築していく。	システム構築までの具体的な取り組みはなされていない。	卒業後の学生たちの動向を把握しきれていない。	
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人のニーズを把握して、入学前に在籍していた取得単位などを踏まえ、既習得単位として認定できるようにしている。	入学前に取得していた資格によって、既習得単位として認定している。	担任が社会人入学者のニーズを把握し、仕事と両立もしくは安心して学習環境を提供できるシステム構築が必要である。	学生便覧 既修得単位認定願

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業後にも資格取得を希望する学生らに対して、資格試験対策（理論・実技）への受講案内を積極的に行っていく。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	卒業後も各種相談を受ける体制は整備している	再就職先の相談を受け、再就職先の紹介し採用された。症状別の施術方法について相談を受け対応した。	なし	求人票
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	卒業後の再教育の開発・実施に取り組む	Listjは入学前より内容説明をしており、卒業後も継続的な活用を促している。	国際志学園が実施する各種セミナーなど発信と、積極的な参加を促す	学校ホームページ Listj 会員制度
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人の多様なニーズを踏まえ、実践的技術の習得を支える教育環境の充実を図る。	社会人の多様な背景を踏まえ、専門技術習得を支援する教育環境の充実に努める。	なし	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生･社会人の多様な相談やニーズに可能な限り対応する体制を整えている	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	進路先を確認、共有し、その後の就職先まで把握し、今後の指導に生かしていく必要がある。	進路先は把握しているが、その後の就職先などの調査まではできていない。	卒業生との連絡を強化し、今後の進路指導にいかしていきたい	
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	なし	なし	なし	
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	生活等で必要な日本語の学習をさせる。日本社会になじめるように常識やマナー、ふるまいも同時に学ばせる。	生活で使用する日本語を授業で教えている	あらゆる場面で実践的な日本語を教授できるよう努める。キャリア教育も具体的に行い、目標と自身に必要なことを学べるようにしていきたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本社会でニーズが高まる中で、活躍できるよう教育、サポートをしていきたい。また、それらを CAN DO 化し、カリキュラムで具体的にしていく。また、自身で日本社会においてどのようにしていきたいか、などを考える機会を設け、それに向かって自律的に頑張れるようにしなければならない。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	卒業後も安心して社会生活が送れるよう、必要に応じた支援体制を整備し、卒業生の職場定着やキャリア形成を支援する。	卒業生からの相談に対応できる体制を整え、就業状況や生活面に関する相談を受け付けている。	卒業後は連絡が取りにくくなる場合があるため、連絡手段の確保や情報共有の機会を増やし、支援体制の強化を図る。	なし
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	卒業後も社会で活躍し続けるための学びなおしの機会として、プログラムの検討・実施を進めることを目標としている。	企業との連携を通して、現場で求められる知識や技能の把握に努めている。	卒業生の参加機会の確保やニーズの把握が課題である。企業や卒業生との連携を強化し、実施内容や方法の検討を進める。	なし
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会や企業のニーズを踏まえた実践的な教育環境の整備を行い、即戦力として活躍できる人材の育成を目標としている。	教育課程編成委員会や企業との連携を通してニーズの把握に努め、授業内容へ反映している。	外部との連携を強化し、継続的に教育内容の見直しを行っていく。	教育課程編成委員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への相談対応や企業との連携を通して状況把握を行うとともに、産学連携による再教育プログラムの検討や社会人ニーズを踏まえた教育環境の整備に取り組んでいく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

基準６　教育環境　【平均評定：３．８】

6-22　施設・設備等

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上必要な設備及び教育用具を適切に整備し、過不足のない教育環境の維持に努めている。	前準備を十分に行い、学生が学ぶ上で必要な教材、設備、教育用具を揃える。	なし	教材一覧表、学科保管用教育用具一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育上必要な設備および教育用具については、過不足なく整備することを基本方針とし、事前準備を徹底した上で、学生の学修に必要な教材・設備・教育用具を適切に整えている。これにより、円滑かつ効果的な教育環境の提供を実現し、学生が安心して学習に取り組める体制の構築に努めている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	十分な施設及び設備を整備する。	養成施設指導要領に定められた器械器具、標本及び模型、図書並びにそのたの備品を備えている。	なし	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割、専修学校報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
養成施設指導要領に定められた器械器具、標本及び模型を講義の中でも使用し、図書室も図書閲覧として使用できる。トレーニングスペースを設置している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	学校指定規則に基づき、施設・設備・教育用具などの整備を行う。	指定規則に則り、施設・設備・教育用具などの整備を行っている。	なし	学校指定規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校指定規則に記載している施設・設備・教育用具等を整備する。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	指定規則に記載している施設、設備、教育用具等を整備している。	指定規則を遵守した施設、設備、教育用具等を整備している。	なし	校舎用途変更対照表 備品台帳 図書台帳

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校指定規則に記載している施設、設備、教育用具等を整備。	学校独自の機器を整備（デジリハ、ロボットスーツ、3D プリンター、VR 等）。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」をもとに整備する。	「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」を確認し整備している。	なし	看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」を確認し整備できている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	歯科衛生士養成所指導ガイドラインに基づき、教育課程を適切に実施するために必要な施設･設備･教育用具等を整備することを基本方針としている。	実習教育においては､歯科衛生士の業務内容に対応した教育を実施できるよう、歯科用ユニット､模型､実習器材等を配置している。	機材の経年劣化や教育内容の高度化に対応した設備更新が課題。機器の整備状況を定期的に点検し、環境改善を継続的に推進する。	・歯科衛生士養成所指導ガイドライン

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生士養成所指導ガイドラインに基づき、教育課程の実施に必要な施設・設備・教育用具等を整備している。 また、教育設備や実習機材の点検および更新を行いながら教育環境の維持・向上に努めており、実践的教育を実施できる体制を整備している。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	ある程度の教育上、必要な施設及び設備は整えているが、十分とは言えない。今後も満足に行く補充を検討する必要がある。	実技に必要な設備に関しては最低限そろえることができているが、補充が必要。	演習が行える部屋はあるが、全ての演習が行えるものではないため、授業に取り入れられない演習は介護実習現場で体験させていただく。	学科備品一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備に関して、十分に整備できているとは言えない。学生が満足することができる講義・実技等を行っていくためには、備品の確保や実習現場との連携の必要がある。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	資格認定校基準をクリアできる施設・設備・教育用具は整備している。また、非常勤講師などの要望は随時対応している。	授業運営が円滑に進むよう、教育用具については、在庫確認を定期的に行い、必要に応じて購入するようにしている。	特になし。	実習費使用累積一覧 AT 学科備品

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格認定校基準をクリアできるよう、教育上に必要な施設・設備・教育用具は準備している。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	実践的技術習得を重視し、教育内容に応じた設備､用具等の整備を図る。	施術ベッドや実技教材を整備し､実践的な施術技術を学べる環境を整えている。	空調の影響を受ける席があるため､席配置を見直し学習環境の改善を行った。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育内容に応じた設備・備品・消耗品を整備し、実践的な学習環境を確保している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上必要十分な設備、教育用具を整備する必要がある	必要なものが揃っている	古くなっていたり､傷んでいるものもあるので必要に応じ買い替えなければならない	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今あるものを大切に使いつつ､教育に関するものには惜しみなく交換、新調などし、環境を整えていきたいと思う。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育目的の達成に必要な施設・設備等を整備し、効果的な学習環境の提供を目標としている。	講義に必要な教室や教室用具を整備し、適切に活用している。	教育内容の変化に対応した設備の更新が必要である。	なし

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
教育内容や社会ニーズの応じた環境整備を進め、教育の質の向上に努めていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　久保　佑生

6-23　学外実習、インターンシップ等

柔道整復学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習及びインターンシップについて、実施要綱及びマニュアルを整備の上、適切な運用体制のもと円滑に実施している。	学科教員・学生主体となって計画、参加している。	なし	臨床実習指導要綱、臨床実習会議資料、学外研修会案内資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習・インターンシップについては、実施要綱及びマニュアルを整備し、事前指導、実習中の連携、実施後の振り返りを通じて適切に運用している。また、安全管理の徹底と学習成果の把握に努めている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　社　由洋

鍼灸学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	解剖学実習への参加	毎年2年生が解剖見学実習へ参加をしている。 学科より2名の教員が引率して対応している。	なし	実習手引き

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人体に対する知識を深めるたけでなく、医療人としての心も学ぶ機会になっている。	なし

最終更新日付	令和8年3月31日	記載責任者	学科長　馬男木　亨

理学療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習について、異議や教育課程上の位置づけを明確にし、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用する。	臨床実習指導要綱に明文化し運用している。	なし	臨床実習指導要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習の異議や教育課程上の位置づけを明確にし、実施要綱とマニュアルを整備して適切に運用する。	なし

最終更新日付	令和8年3月31日	記載責任者	学科長　中山　大貴

作業療法学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の意義や教育課程での位置づけを明確にし、実施要綱やマニュアルを整備、適切に運用する。	実習施設との連携を図るため、会議を実施している。 臨床実習指導要綱を作成している。	臨床実習以外で臨床教育を実施する科目を増やす。	臨床実習指導要綱 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習の意義や教育課程での位置づけを明確にし、実施要綱やマニュアルを整備、適切に運用。	臨床実習以外で臨床教育を実施する科目を増やすために、風船バレー大会等の各種ボランティアへ積極的に参加している。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　杉本　亙

看護学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	臨地実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にし、実習要綱・指導要綱を整備して適切に運用する。	実習要綱・指導要綱等を整備し明確にしている。	なし	臨地実習要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨地実習について、実習要綱・指導要綱等を整備し運用している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　小山　京子

歯科衛生学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	臨床能力および職業倫理を修得するため、歯科医療機関等における臨地・臨床実習を教育課程の重要な教育活動として位置付けている。	実習施設との連携により実習状況を把握し、教育内容および実習環境の充実を図ることで、教育効果の向上に努めている。	実習施設ごとに指導内容に差が生じる点が課題。指導内容の共有を図り、教育内容の均質化と指導体制の充実を図る。	・臨地・臨床実習要綱 ・臨床実習先一覧表 ・実習施設契約書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科医療機関等との連携のもと、臨地・臨床実習要綱に基づき学外実習を実施している。実習施設との契約および連携体制を整備するとともに、実習状況の把握や施設の見直しを行い、教育効果の向上に努めている。今後は、実習施設間における指導内容の均質化および連携強化を図り、学生が臨床現場で実践的能力を修得できる教育体制のさらなる充実を目指す。	なし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　中島　紀子

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	**ア　考え方・方針・目標**	**イ　現状・具体的な取組等**	**ウ　課題と解決方向**	**エ　イの参照資料等**
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実習やインターンシップは専門知識と技術を修得する良い機会であり、就職先を考える際に重要なものだと考えている。	学外実習とインターンシップの実施体制は出来ているが、海外研修などの実施体制の整備は出来ていない。	実習は単位取得のため必須だが、インターンシップは行っているものの、現在日本人学生しか行っていないため、留学生にも積極的に行えるよう環境を整えていく必要が有る。	実習の手引き シラバス

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
実習に関して、実習前指導を行い実習の意義や目的を伝えるようにしている。実習の際に実習施設からいただいた評価を学生へ伝え、勉強意欲や就職意識の向上につなげていきたい。 また、インターンシップについても留学生が行えるよう検討していく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	**記載責任者**	学科長　石橋　真由美

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	積極的に学外実習に参加できるような体制を整えている。その中で、不足している知識を授業などで学習していく。	高校生のスポーツイベントなどへの参加し、救護ブースなどでストレッチ指導などコンディション管理にあたっている。	アスレティックトレーナーとして習得すべき技術を明確化し、段階的なレベルアップできるようなシステム作りが必要である。	AT 学科実習心得

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
アスレティックトレーナーの養成校という位置づけの中で、プロスポーツチーム、高校生の部活動への学外実習を積極的に進めている。	特になし。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　寺本　敦司

整体セラピスト学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実践力向上につながる授業とと、関連施設における学外実習等のマニュアルを整備し適切に運用する。	関連施設等と連携し、現場見学の実施や、地域イベント参加にて実践的な学習の機会を設けている。	実習後の振り返りにより課題を整理し、不足する内容は授業を通して補完を図る。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習を通して現場理解を深める機会を設けている。実習後は課題を共有し授業で補完する。今後も実習体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　蓑田　のり子

日本語学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	なし	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　髙野　徳一

ＤＯビジネス学科

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実践的な学びの機会を提供するため、学外学習やインターンシップの実施体制を積極的に整備する。	企業と連携し、インターンシップや企業見学などの機会を提供している。	受け入れ先の拡大、企業との連携強化を進めていく。	インターンシップ受け入れ先一覧、実習報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外学習やインターンシップの実施体制を整備し、実践的な学びの機会を提供している。実社会での経験を通して、実務能力や適応力の向上を図っていく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学科長　久保　佑生

6-24　防災・安全管理

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-24-1　防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	法律に基づき、消防計画の作成、運用	計画通りに訓練、消防への申請など実施	片野・馬借校舎ともに同一管理者のため、各校舎での防火管理者選任が望ましい	九州医療スポーツ専門学校消防計画
6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	防犯カメラなどによる、セキュリティの整備 設備異常に関しては、回付にて依頼	学校運営の組織図に基づき、緊急時の対応実施	なし	学校法人国際志学園　組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に関しては、法律に基づき運用している。 設備点検も委託業者など行い連携して取り組んでいる。 今後も防災・安全管理を継続していく。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学生部　部長　　石井　勇一

基準７　学生の募集と受入れ　【平均評定：４．０】

7-25　学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	本校の教育理念、活動や育成する人財像を高等学校等に情報をお伝えする。	進路指導部への情報提供のみにならず、担任や部活動の顧問の教員への報告等を行って活動をしている。	入学時の案内だけでなく、卒業後の様子が分かる冊子の作成をしている。	報告書
7-25-2　学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	専各協会の方針に沿った案内を行っている。	明確な記載がある資料の配布をしている。	Web 出願手続き、県外入試の実施計画を行い、受験生が良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。	報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
これまでに行って来た学生募集を継続して行っていく。 高校訪問、オープン キャンパス、出張講義等の開催、参加を実施して行く。 また、イベントの開催を積極的に行い、より多くの方に業界を 知って頂く取り組みも行う。	Web 出願手続き及び県外入試の実施計画を行い、受験生がよりよい環境で受験が出来る体制を整えていく。

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	広報部長　大庭　俊輔

7-26　入学選考

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
7-26-1　入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入試選考基準に則り、合否判定を決定	判定基準に通りに合否判定を実施している	なし	入試判定結果表
7-26-2　入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	基礎学力に応じた授業展開を目指す	入学試験および入学前課題を元にした入学直後に学力試験を実施する	特になし	入試判定結果 入学前課題 入学前課題確認テスト 入学前課題確認テスト成績

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状の運用を継続して行う	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学生部長　石井　勇一

7-27　学納金

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
7-27-1　経費内容に対応し、学納金を算定しているか	経費内容に対応した学納金を算定する	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている	なし	学生募集要項
7-27-2　入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	文部科学省の入学辞退者に対する授業料等の取扱いについて（通知）に基づき、募集要項に明示して取り扱う	初年度納付金納入後の入学辞退者に対しては、入学金以外の納付金は速やかに返金手続きを行っている	なし	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状の運用を継続して行う	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	学生部長　石井　勇一

基準８　財務　【平均評定：４．０】

8-28　財務基盤

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-28-1　学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	定員充足率の推移を把握し、収支のバランスを図り、中長期的な財政基盤の安定を図る。	方針に沿って定員充足率の推移を把握し、中長期的な財政基盤の安定を図っている。	特になし	貸借対照表
8-28-2　学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	直近３年間の財産目録･貸借対照表等の数値をもとに財務分析を行う。	外部コンサルタントを含めて財務分析を行っている。	特になし	貸借対照表 財産目録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各施設団体に提出する必要があるものが多く、収支計算書や償還計画など、一年中扱っていることが多い。財政基盤として、学生の確保が最重要課題だと認識している。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長 西 田 真 紀

8-29　予算・収支計画

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-29-1　教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算の編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画との整合性を図る。	教育目標との整合性を図り、単年度予算および中期計画を策定している。	特になし	事業活動収支計算書 事業計画
8-29-2　予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算の執行計画を策定するとともに、適正に予算を執行するためのチェック体制を整備する。	会計士を含めて毎月チェックを実施している。	特になし	事業活動収支計算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会を通して予算案の策定発表、また、補正予算案等も発表して確認を行っている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長 西 田 真 紀

8-30　監査

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施する。監査報告書を作成し、理事会において報告する。	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施している。監査報告書は理事会において報告するとともに、本校ホームページにおいても公開する。	特になし	事業報告書 監事監査報告書 理事会議事録 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事による監査はもちろんのこと、会計士とも連携を図り、定期的に状況報告と確認を行っている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長　西　田　真　紀

8-31　財務情報の公開

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-31-1　私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程を整備し、公開が義務づけられている事項について、ホームページ等で適切に公開する。	財務公開規程に基づきホームページにおいて公開している。	特になし	財務公開規程 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も引き続き情報公開について積極的な公開を心がけるとともに、適正な情報を公開することを前提にする。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長　西　田　真　紀

基準９　法令等の遵守　【平均評定：４．０】

9-32　関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係法令および設置基準等に基づいた学校運営を行うとともに、必要な諸届を行う。	関係法令および設置基準に基づいた学校運営を行っている。	特になし	諸届控

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守を第一義に、規程・規則についても必要に応じて順次、整備を図っている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長 西 田 真 紀

9-33　個人情報保護

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護安全対策管理規程その他の規程に基づき、個人情報の保護を徹底する。	個人情報保護安全対策管理規程その他の規程に基づいた個人情報の保護を図っている。	特になし	個人情報保護安全対策管理規程 情報資産利用ルール プライバシーポリシー

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については規程に基づいて徹底した管理を行っている。複数サーバーの存在が不正アクセスの侵入口を増やしている原因となっている。不正アクセス防止のためのセキュリティは講じているが、進化する不正アクセスに対するさらなるセキュリティ強化が必要と考えている。	

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	事務局長 西 田 真 紀

9-34　学校評価

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	各部署において自己評価を実施し、より良い学校経営を目指す。	各部署において自己評価を行って課題を見出し、改善を図る。	PDCA サイクルを活用して前年度の課題に対する取組みの見直しを図っている。	「自己点検・自己評価に関する規程」 「学校関係者評価委員会に関する規程」
9-34-2　自己評価結果を公表しているか	自己評価報告書の完成とともに、本校 HP 上において公開する。	自己評価報告書の完成とともに、本校 HP 上において公開している。	なし	「本校 HP」 「自己評価報告書」
9-34-3　学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価委員会において自己評価報告書の評価を依頼して改善点を見出す。	学校関係者評価委員会において自己評価報告書の評価を依頼して、改善点等について提起していただいている。	学校関係者評価委員会において提起がなされた改善点につき、優先順位の高いものから順次対応している。	「学校関係者評価委員会報告書」
9-34-4　学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果は学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、それを本校 HP 上において公開する。	学校関係者評価委員会報告書を本校 HP 上において公開している。	なし	「本校 HP」 「学校関係者評価委員会報告書」

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年 6 月に学校関係者評価委員会を開催し、自己評価報告書を評価していただいている。その評価は学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、それを本校 HP 上に公開している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	副校長　　味村　吉浩

9-35　教育情報の公開

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-35-1　教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報を本校 HP 上において公開する。	本校 HP（情報の公表）に取りまとめるかたちで教育情報について公開しいる。	なし	「本校 HP」 「学生便覧」

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育情報として、「教育理念」「教育目標」「専門学校における情報提供等への取組みに関するガイドラインの項目に対する本校の情報提供内容」「新法省令確認申請書」「シラバス」「成績管理の実施及び卒業認定について」「職業実践専門課程認定学科における基本情報」「教員名簿」「授業実施計画」「学校行事・課外活動」「日本語課程修了者の日本語能力習得状況等」等について、本校 HP 上において公開している。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	副校長　　味村　吉浩

基準１０　社会貢献・地域貢献　【平均評定：４．０】

10-36　社会貢献・地域貢献

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
10-36-1　学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校施設をはじめ､学科教員の知識や技術を社会貢献や地域貢献へと活かす。	高等学校等へのトレーニング指導など	特になし	学校施設貸与規程 トレーニング指導派遣記録
10-36-2　国際交流に取組んでいるか	海外教育機関学生の研修受入れを行うなどして国際交流を図る。	海外教育機関学生の研修受入れ	特になし	学校パンフレット

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近隣高等学校からの要請を受け､教員を派遣して部活動内でのトレーニング指導を行っている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	副校長　　味村　吉浩

10-37　ボランティア活動

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
10-37-1　学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	より多くのボランティア活動を学生に経験させて知見を広めるようにする。	教務部が窓口となってボランティアの案内､支援を行うとともに､学内でボランティア活動に係る報告の機会を設けている。	特になし	ボランティアスタッフ募集関連受領文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生に対してボランティア活動への積極的な参加を促し､より多くの人々とふれ合い、経験を積むようにしている。	なし

最終更新日付	令和８年３月３１日	記載責任者	副校長　　味村　吉浩